

# 消防年報

ANNUAL REPORT 2023  
(令和5年版)



## 沖縄市消防本部

okinawa city Fire Department  
(令和6年8月刊行)

## 沖縄市民の花・木・観葉植物

昭和49年10月26日制定

### ◇市民の花 ハイビスカス Flowers Citizens



市民の花「ハイビスカス」〈アオイ科〉  
〈和名＝仏桑華〉沖縄では「アカバナ」  
と呼ばれ、最もポピュラーな花、サンサン  
と輝く太陽の下で大輪の花を咲かせ、南国  
情緒を漂わせます。品種も多く色も赤、ピ  
ンクや黄色と多彩で、生命力があるので台  
風に強く垣根などに使われます。

### ◇市民の木 ビロー（クバ） Citizen Trees



市民の木「ビロー」〈和名／ビロウ〉ヤシ  
科の常緑高木で、方言名を「クバ」とい  
い、葉を乾燥させてクバ笠にしたり、ウチ  
ワにしたりして、昔から沖縄の暮らしの中  
に根づいている木です。また、耐風性、耐  
潮性にもすぐれているため、海岸近くや街  
路樹としてもよく利用されています。

### ◇市指定観葉植物 クロトン Public



市民の観葉植物「クロトン」〈和名／変葉  
木〉赤や緑や黄などの色彩豊かな葉の柄が  
美しいクロトンは、葉の大きさ、形、色が  
それぞれ違う常緑低葉木。沖縄だけでも品  
種名がはっきりしたもので146種もあり、  
世界中で愛されている観葉植物です。

# 沖 縄 市 歌

屋 嘉 宗 克 作 詞  
奥 平 潤 作 曲

明るく元気に歩く速さで

1. みどりの かせよ ふるさいとよ  
2. かがやく そらよ あおいうよ  
ごちゆうのみ きたのめ ゆちかのま  
ちゆうぶの きたのめ ゆちかのま  
ぶんかの はなはり さてきり ほこりて  
へいかわの ひなはり さてきり ほこりて  
ひらく しせいほ たくまし く  
おいらも わかきも たてを とり て  
とわにさかえ る おきなわ し  
とわに さかえる おきなわ し

## 沖 縄 市 歌

一、みどりの風よ ふるさとよ

越来美里の 豊かなる

文化の花は 咲きほこり

ひらく市勢は たくましく

永遠に栄える 沖縄市

永遠に栄える 沖縄市

二、かがやく空よ 青い海

中部のかなめ 自治のまち

平和の光 照りはえて

老いも若きも 手をとりにて

永遠に栄える 沖縄市

永遠に栄える 沖縄市

## ま え が き

この年報は、令和5年中における本市消防の主要な業務および消防現勢を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するために編集しました。

なお、この年報の統計資料は、原則として歴年をもって表し、予算に関する事項については、会計年度で作成、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。



令和 6 年 8 月  
沖縄市消防本部

# 一目でわかる消防統計

OKINAWA CITY 2023~2024 (令和5年度)  
沖縄市消防本部



## 面積 P1

49.00km<sup>2</sup>

### 地勢の特徴

- ・米軍基地
- ・比謝川
- ・丘陵地・泡瀬海岸地区



総人口数 142,284人

世帯数 66,759世帯

人口統計 (令和6年3月)



## 消防予算 P17

(令和5年度当初)

11億7238万6千円



## 組織 P14

### 消防本部

消防総務課・予防課  
通信指令課

### 消防署

警防課・本署・山内出張所・泡瀬出張所

## 消防職員 P18

条例定数 122人

実員数 115人



## 消防団員 P69

条例定数 92人

実員数 72人

女性防火クラブ

P72

15支部 283人

## 119番入電件数

17,925件

P28



## 消防車両・特殊車両 (保有状況) P23

- ・水槽付きポンプ車 5台
- ・水槽車 (タンク車) 2台
- ・はしご車35m級 1台
- ・救助工作車 1台
- ・水難支援救助車 1台
- ・救助艇・水上バイク各1台 (トレーラー2台)



## 消防水利現勢 P27

消火栓 993基

防火水槽 34槽



## 救急概況 P50~ 自治会別出動件数 P63

救急出動 9,765件 搬送人員 7,735人

主な内訳・急病 6,893件 ・死亡・重症 948人

・一般負傷1,411件 ・中等症 2,619人

・転院搬送 683件 ・軽症 4,165人

・交通事故 432件



## 救急法講習会 P64

講習会数 155回

受講人数 1,395人



## 救助概況 P25

出動件数 64件

救助人員 46人



## 火災概況 P41 火災件数 39件

建物火災 17件

損害額: 2083万4000円

出火原因別発生件数 P45

ガスコンロ4件 タバコ2件 その他7件 不明4件



## 防火対象物

3,930件

P30



## 危険物施設

213 施設

P38



# 目 次

## 概 況

沖縄市の位置及び地勢	1
署所の配置図	2
消防施設	3
消防の沿革	4～12
歴代消防長	13

## 総 務

消防本部組織図	14
消防本部分掌事務	15～16
消防予算	17
市の予算と消防費	18
人口・世帯当り消防費所要額	
消防職員の定数及び実員	
職員の階級別年齢	19
職員の勤続年数	20
職員の実務研修状況	21
職員の取得免許・資格等	22

## 警 防

車両及び艇（保有状況）	23
消防職員の訓練実施状況	24
救助隊の設置状況	25
救助出動件数及び活動件数	
救助人員及び搬送車両等の内訳	
消防機関の出動状況	26
過去5年間の出動件数及び出動人員	
消防水利現勢	27

## 通 信

119入電状況	28
災害別119受信件数	29

## 予 防

防火対象物及び件数	30
消防用設備等の審査と検査	31
月別消防用設備等検査状況	
過去3年間の消防用設備等検査状況	
用途別建築同意件数	32
消防用設備等設置状況(1)	33
消防用設備等設置状況(2)総計	34
建築同意件数(町別)	35
中高層建築物(4階以上)の現況表	36
避難訓練実施状況及び参加人数状況	37
危険物規制	38
危険物製造所等の許可施設数	
危険物製造所等の届出等状況	
危険物製造所等の許可検査状況	39
火災予防条例による規制	40
火災予防条例に係る各種届出件数状況	
火災概況	41
火災統計総括	42

## 予 防

時間別火災発生状況	43
月別火災件数・損害額	
月・曜日別火災件数及び損害額	44
火災原因別発生件数と損害額	45
自治会別火災発生件数及び損害額	46
過去5年間の火災発生状況	47
過去10年間の建物火災用途別発生状況	48
防災研修センター利用者状況	49

## 救 急

月別救急状況	50
事故種別救急出動件数	51
事故種別救急搬送人員	52
曜日別救急出動状況	53
時間別救急出動件数	54
時間別搬送人員	55
事故種別傷病者程度別搬送人員	56
事故種別年齢区分別搬送人員	
現場到着所要時間別出動件数	57
収容所要時間別搬送人員	
管内管外別搬送人員	58
発生場所別搬送人員	
救急隊員の行った応急処置件数	59
転院搬送の状況	60
病院別搬送人員	61
本署・出張所出動件数	
過去5年間の救急出動状況	62
発生地別出動件数	63
市民に対する救急法講習実施状況	64
救急法講習の種類と内容	

## 消防団

沖縄市消防団の組織	65
消防団員の沿革	66～68
消防団員の定数及び実員	69
消防団員の年齢	
消防団員の報酬及び費用弁償額	
消防団員の勤続年数	70
消防団員の実務研修状況	
消防団車両	71
消防団員出動状況	

## 女性防火クラブ

女性防火クラブの趣旨及び現況	72
女性防火クラブの沿革	73
女性防火クラブ事業経過報告	74
防火宣言	75

## 沖縄市の位置及び地勢

沖縄市は、沖縄本島の中央部に位置し、北緯26度20分、東経127度48分にあつて、市域面積49km<sup>2</sup>の約9割が標高100m以下の地域で、中城湾に面する東海岸部から斜面地域が連坦しながら、西北部の丘陵域へと広がっており、北はうるま市・恩納村、南は北谷町・北中城村、西は嘉手納町・読谷村に接し、南東は中城湾に面しております。

また、地区の区分を、自然的、社会的、経済的および文化的諸条件を勘案し、北部地区、中部地区、東部地区、西部地区の4つの地区に区分しております。

北部地区は、丘陵地が広く卓越し、台地・段丘が複雑に分布する地形をなしております。また、地区の多くを米軍施設・区域によって占められております。

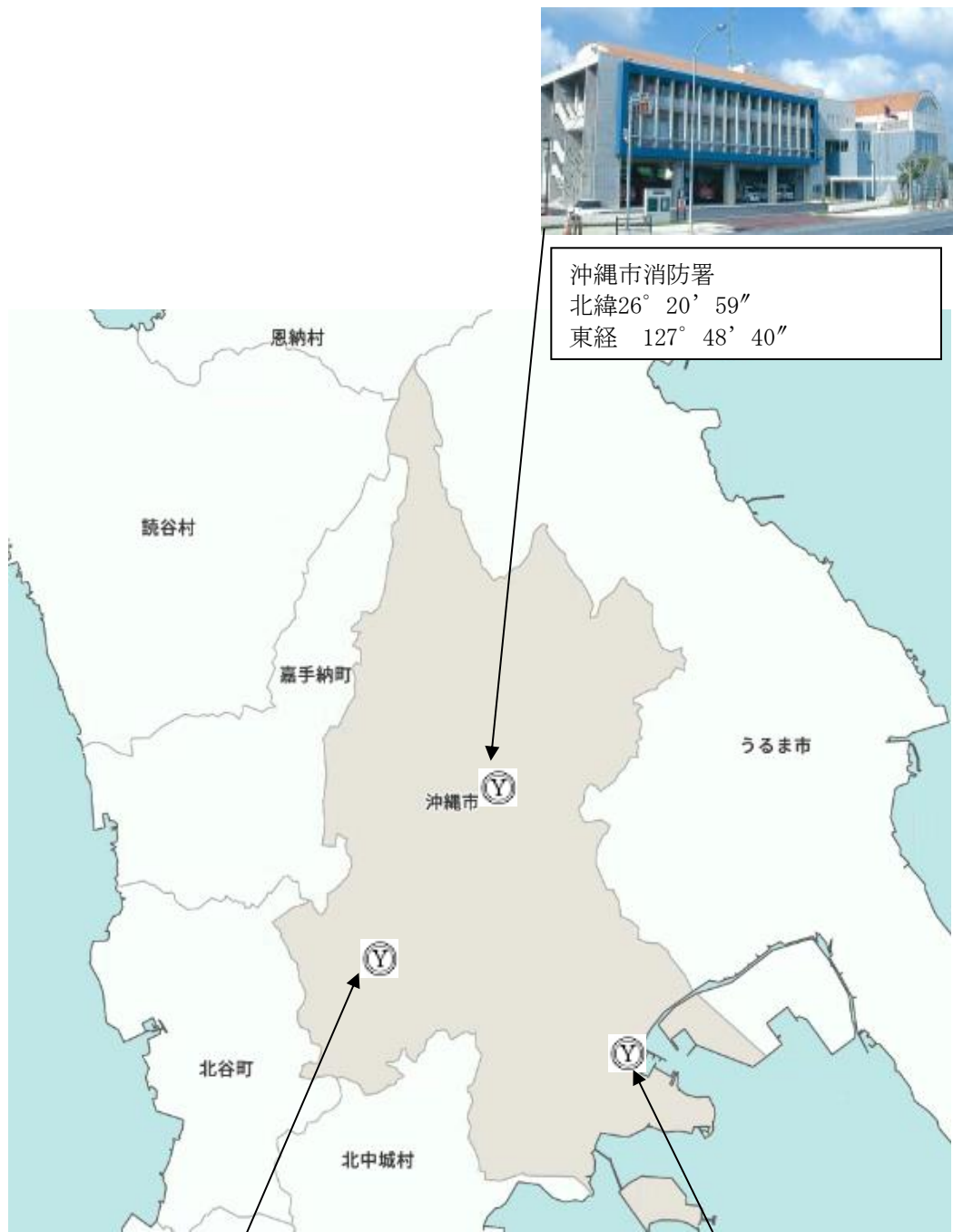
中部地区は、斜面地となだらかな傾斜の台地からなっており、国道330号と国道329号が交わるコザ十字路を中心に地区の全域が用途地域です。

東部地区は、地区の大部分が海岸低地からなり、斜面を経て丘陵部へと移行する地形で構成されており、近年市街化が進行し人口が増加しております。

西部地区は、戦後、胡屋十字路周辺を中心に、基地の門前町として中部圏域の中核都市として急速な発展を遂げてきた地区です。



# 署所の配置図



沖繩市消防署  
北緯26° 20' 59"  
東経 127° 48' 40"



山内出張所  
北緯26° 19' 31.  
東経127° 47' 13.79



泡瀬出張所  
北緯26° 19' 7.09  
東経127° 50' 7.85



## 消防施設

### ◆消防庁舎の概要


沖縄市消防本部・沖縄市消防署

2024(令和6年3月31日)現在

	所在地	〒904-2153 沖縄県沖縄市美里五丁目29番1号
	電話番号	098-929-1190(代表)
	F A X	090-983-4588
	構造	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建て
	敷地面積	5,303㎡
	建築面積	1,708㎡
	延べ床面積	3,763㎡
	建築年月日	平成11年3月25日

訓練塔(主塔・補助塔)

2024(令和6年3月31日)現在

	所在地	〒904-2153 沖縄県沖縄市美里五丁目29番1号
	主塔	鉄筋コンクリート地下1階地上6階建て
		建築面積 34㎡ 延べ床面積218㎡
	補助塔	鉄筋コンクリート造3階建て
		建築面積 127㎡ 延べ床面積280㎡
	建築年月日	平成11年3月25日


沖縄市消防署・山内出張所

2024(令和6年3月31日)現在

	所在地	〒904-0034 沖縄県沖縄市山内一丁目12番10号
	電話番号	098-930-1190
	F A X	098-930-1194
	構造	鉄筋コンクリート造1階建
	敷地面積	2,758㎡
	建築面積	861㎡
	延べ床面積	803㎡
建築年月日	平成12年2月28日	

沖縄市消防署・泡瀬出張所

2024(令和6年3月31日)現在

	所在地	〒904-2172 沖縄県沖縄市泡瀬一丁目11番3号
	電話番号	098-921-1538
	F A X	098-921-1539
	構造	鉄筋コンクリート造2階建
	敷地面積	2,451㎡
	建築面積	729㎡
	延べ床面積	876㎡
建築年月日	平成18年3月15日	

## 消防の沿革 1974（昭和49年）～1975（昭和50年）

西暦 和暦	月 日	で き ご と																																																	
1974 昭和49年	4月1日	<p>コザ市と美里村が合併して沖縄市が誕生し、同時に沖縄市消防本部、沖縄市消防署、沖縄市消防団が発足した。</p> <p>沖縄市初代消防長にコザ市消防長の永山盛和就任</p> <p>旧コザ市消防職員及び旧美里村常備消防団員を沖縄市消防職員に任命、消防本部並びに消防署の機構は旧コザ市の機構を採用したほか、あらたに出張所を設け、旧美里村消防団庁舎を沖縄市消防署美里出張所に改称した</p> <p>改称：合併時における消防の現況は次のとおり</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="4">職員</td> <td>消 防 監</td> <td>1人</td> <td>消防司令補</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>消防司令長</td> <td>1人</td> <td>消防士長</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>消防司令</td> <td>2人</td> <td>消 防 士</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>67人</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="6">車両</td> <td>タ ン ク 車</td> <td>2台</td> <td>はしご消防車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>救 急 車</td> <td>2台</td> <td>指 令 車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>予 防 広 報 車</td> <td>1台</td> <td>連 絡 車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>原 付 自 転 車</td> <td>1台</td> <td>器 具 積 載 車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td colspan="3">水槽付き消防ポンプ車</td> <td>6台</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>16台</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="2">無線</td> <td>基地局</td> <td>2基</td> <td>本署 1 美里出張所1</td> </tr> <tr> <td>移動局</td> <td>12基</td> <td>本署10 美里出張所2</td> </tr> </table>	職員	消 防 監	1人	消防司令補	9人	消防司令長	1人	消防士長	9人	消防司令	2人	消 防 士	45人	計			67人	車両	タ ン ク 車	2台	はしご消防車	1台	救 急 車	2台	指 令 車	1台	予 防 広 報 車	1台	連 絡 車	1台	原 付 自 転 車	1台	器 具 積 載 車	1台	水槽付き消防ポンプ車			6台	計			16台	無線	基地局	2基	本署 1 美里出張所1	移動局	12基	本署10 美里出張所2
		職員		消 防 監	1人	消防司令補	9人																																												
				消防司令長	1人	消防士長	9人																																												
				消防司令	2人	消 防 士	45人																																												
			計			67人																																													
		車両	タ ン ク 車	2台	はしご消防車	1台																																													
			救 急 車	2台	指 令 車	1台																																													
			予 防 広 報 車	1台	連 絡 車	1台																																													
			原 付 自 転 車	1台	器 具 積 載 車	1台																																													
			水槽付き消防ポンプ車			6台																																													
計			16台																																																
無線	基地局	2基	本署 1 美里出張所1																																																
	移動局	12基	本署10 美里出張所2																																																
	7月1日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数が73人となる																																																	
	9月13日	指令車購入（日産セドリック）																																																	
	10月1日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（胡屋）																																																	
	10月7日	消防吏員3人、事務吏員1人増員し、消防職員の実数が71人となる																																																	
	10月11日	無線移動局1基増設																																																	
	10月11日	小型動力ポンプ付積載車購入（日産自動車）																																																	
1975 昭和50年	1月22日	無線移動局1基増設																																																	
	2月1日	救助工作車購入（日野自動車）																																																	
		無線移動局2基増設計16基																																																	
	3月10日	日本損害保険協会より救急車3B型寄贈（日産自動車）																																																	

## 消防の沿革 1975（昭和50年）～1982（昭和57年）

西暦 和暦	月 日	で き ご と
1975 昭和50年	7月1日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数が76人となる
	10月8日	第6回沖縄県消防人のつどいを当市開催、県内各地より220人参加
	11月5日	小型動力ポンプ付積載車購入（日産自動車）
1976 昭和51年	1月27日	水槽付消防ポンプ自動車（1,500L）購入（日野自動車）
	9月27日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（1,600L）寄贈（いすゞ自動車）
	10月22日	財団法人沖縄国際海洋博覧会協会より寄贈された救急消防一斉指令装置運用開始
	11月9日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）2基設置（古謝・松本 ※現明道1-9-1前）
	12月6日	永山盛和消防長退任、第2代目消防長に仲原英典就任
1977 昭和52年	9月14日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）2基設置（比屋根・与儀）
1978 昭和53年	3月30日	小型動力ポンプ付水槽車（10,000L）購入（いすゞ自動車）
1979 昭和54年	1月6日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）4基設置（胡屋・安慶田・諸見里・大里）
	2月16日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入（三菱自動車）
	12月13日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）3基設置（山内・室川・美里）
1980 昭和55年	2月20日	仲原英典消防長退任
	3月1日	第3代目消防長に高江洲盛昇就任
	3月3日	無線移動局（10W）2基購入
	3月4日	器具積載車購入（トヨタ）（防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
	3月11日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入（三菱自動車）
	3月26日	救急車（2B型）購入（トヨタ自動車）
	3月29日	普通消防ポンプ自動車（BD-I型）購入（日産） （防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
	7月9日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数が79人となる
	11月22日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入
	12月17日	予防査察車購入（トヨタ自動車）
	12月23日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）3基設置（センター・池原・登川）
1981 昭和56年	3月19日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（泡瀬第三）
	10月14日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）2基設置（松本・登川）
1982 昭和57年	9月16日	日本消防協会より消防用無線機（1W）1基寄贈
	10月29日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（美里）

## 消防の沿革 1982（昭和57年）～1989（平成元年）

西暦 和暦	月 日	できごと
1982 昭和57年	10月30日	連絡車購入（トヨタ自動車）
	11月11日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（越来）
	11月16日	小型動力ポンプ付水槽車（5,000L）購入（いすゞ自動車）
1983 昭和58年	2月26日	38m級はしご付消防自動車購入（株式会社モリタ）
	7月28日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（池原）
	8月11日	日本消防協会より緊急給水用ろ水器1台寄贈
	11月1日	沖縄県防災行政無線局運用開始
	12月15日	救急車（2B型）購入（トヨタ自動車）
1984 昭和59年	6月16日	沖縄市婦人防火クラブを結成（初代会長に内里栄子就任10支部会員217人）
	8月28日	日本消防協会より婦人防火クラブ用軽可燃消防ポンプ5台寄贈
	9月13日	日本消防協会より電源照明車1台寄贈（日産自動車）
1985 昭和60年	3月31日	高江洲盛昇消防長退任
	4月1日	第4代目消防長に外間清昌就任
	4月25日	全国消防長会九州消防職員意見発表会（最優秀賞受賞 消防士 比嘉安成）
	9月9日	日本消防協会より婦人防火クラブ用軽可搬消防ポンプ6台寄贈
	10月25日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（松本）
1986 昭和61年	9月6日	日本消防協会より救急車（2B型）1台寄贈（日産自動車）
	10月28日	第2回全国婦人消防操法大会に婦人防火クラブ出場（神奈川県横浜市）
1987 昭和62年	3月31日	外間清昌消防長退任
	4月1日	第5代目消防長に太田守昭就任
	7月3日	日本消防協会より広報車（防火号）1台寄贈（トヨタ自動車）
	9月10日	日本損害保険協会より普通消防ポンプ自動車寄贈（BD-I型）（トヨタ自動車）
	9月30日	無線機携帯局（5W 1基・1W8基）購入
	10月25日	第42回国民体育大会（海邦国体）消防警備（10月25日～30日）
	11月14日	第23回全国身体障害者スポーツ大会 消防警備（11月14日～15日）
	11月24日	救急車（2B型）1台（トヨタ自動車）無線機移動局（10W）1基 購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
1988 昭和63年	11月7日	予防広報車購入（トヨタ自動車）
1989 平成元年	2月27日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（中の町）
	7月25日	防火水槽移設（旧美里公民館）

## 消防の沿革 1989（平成元年）～1999（平成11年）

西暦 和暦	月 日	で き ご と
1989 平成元年	12月1日	指令車購入（日産自動車）
	12月1日	議会事務局から主管変更により人員輸送車を配置（トヨタ自動車）
1990 平成2年	3月20日	小型動力ポンプ付水槽車（5,000L）購入（いすゞ自動車）
	8月31日	消防庁舎基本設計完了
1990 平成2年	8月1日	太田守昭消防長退任（市長部局へ異動）
	8月1日	第6代目消防長に小谷良英就任
1991 平成3年	2月22日	消防仮庁舎（コザ運動公園内）へ移転
	4月1日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数が82人となる
1992 平成4年	2月13日	無線機移動局3基買い替え
	3月31日	事務連絡車購入（トヨタ自動車）
1993 平成5年	3月15日	社団法人日本自動車工業より救急自動車（2B型）寄贈（日産自動車）
	3月16日	救助工作車Ⅱ型・救助資機材購入（いすゞ自動車）（国庫補助）
1994 平成6年	2月28日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入（いすゞ自動車）
	7月1日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数が86人となる
1995 平成7年	1月27日	機材運搬兼連絡車購入（日産自動車）
	2月1日	4人増員採用、職員数86人となる
	3月31日	小谷良英消防長退任
	4月1日	第7代目消防長に城間盛一就任
	11月29日	予防広報車購入（日産自動車）
1996 平成8年	2月26日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入（国庫補助金）
1997 平成9年	2月1日	城間盛一消防長、消防参事に就任、第8代目消防長に喜友名朝光就任
	3月19日	小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型購入（いすゞ自動車）（国庫補助金）
	4月1日	沖縄市消防署（三部制交替勤務）開始
	7月7日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）3基設置（山内第二・センター・照屋若草公園）
	10月7日	美里出張所プレハブ仮庁舎開所
1998 平成10年	1月31日	城間盛一消防参事退任、喜友名朝光消防長消防参事就任
	2月1日	第9代目消防長に仲宗根眞昌就任
	2月19日	広報車購入（日産自動車）
	9月11日	救助隊・水難救助隊発隊式
1999 平成11年	3月24日	高規格救急自動車購入（日産自動車）（自治省消防防災設備整備補助）
	3月25日	沖縄市消防本庁舎完成（防衛施設周辺民生安定施設整備事業）

## 消防の沿革 1999（平成11年）～2006（平成18年）

西暦 和暦	月 日	で き ご と
1999 平成11年	3月25日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）購入（自治省消防防災等設備整備費補助金）
	4月12日	庁舎移転及び業務開始
	5月28日	消防庁舎・防災研修センター落成式
	6月22日	救急救命士業務運用開始
	11月5日	水難救助支援車購入（日野自動車）
	12月1日	仲宗根眞昌消防長退任
	12月2日	第10代目消防長に内間安彦就任
2000 平成12年	2月28日	沖縄市消防署 山内出張所完成（防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
	3月13日	消防署 山内出張所業務開始
	7月19日	2000年九州・沖縄サミット沖縄市地区警戒本部設置
	7月23日	ポンプ隊4隊×5人 指揮情報員4人 予防要員2人 計26人
2001 平成13年	2月19日	高規格救急自動車購入（嘉手納飛行場周辺消防施設設置助成事業）
	3月16日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）購入（三菱ふそう自動車） （消防防災設備整備補助）
2002 平成14年	2月21日	幼年消防クラブ結成
	2月28日	携帯電話による119メール及び119番FAX運用開始
	3月26日	水難救助艇及び水上バイク購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	4月1日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数が89人となる
	4月1日	BCテロ対応資機材導入（消防庁より無償資機材貸与）
11月29日	照明車購入（三菱自動車）	
2003 平成15年	4月1日	内間安彦消防長退任（市長部局へ異動）
	4月1日	第11代目消防長に亀浜朝雄就任
2004 平成16年	3月19日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型購入（自治省消防防災等設備整備費補助金）
	3月25日	消火栓標識設置219基（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	4月1日	緊急消防援助隊登録
2005 平成17年	2月25日	高規格救急自動車購入（嘉手納飛行場周辺消防施設設置助成事業）
	4月1日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数が94人となる
	6月10日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加
	6月11日	ポンプ隊 1隊×5人（静岡県）
2006 平成18年	3月15日	小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型購入（沖縄振興特別交付金）
	4月2日	沖縄市消防署 泡瀬出張所落成完成（特定防衛施設周辺整備調整交付金）

## 消防の沿革 2007（平成19年）～2012（平成24年）

西暦 和暦	月 日	できごと
2007 平成19年	3月13日	高規格救急自動車購入（防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
	3月31日	亀浜朝雄消防長退任
	4月1日	第12代目消防長に内間安彦就任
	4月1日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数が97人となる
	12月31日	内間安彦消防長退任
2008 平成20年	1月1日	第13代目消防長に長堂政美就任
	12月22日	財団法人 日本消防協会から多機能型車両寄贈
2009 平成21年	3月10日	はしご付き消防ポンプ自動車購入（日本機械工業株式会社） （防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
2010 平成22年	1月28日	予防広報車購入（トヨタ自動車）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月26日	消防緊急通信指令施設整備（一部改修） （地域活性化・経済危機対策臨時交付金） 携帯電話・I P電話位置情報通知システム導入 （地域活性化・生活対策臨時交付金）
	3月31日	長堂政美消防長退任
	4月1日	第14代目消防長に高宮城寛就任
2011 平成23年	1月28日	高規格救急自動車購入（防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
	2月3日	移動式高圧空気圧縮機購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	2月17日	空気呼吸器(30Mpa)及び高圧空気容器(30Mpa)購入 （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月17日	緊急消防援助隊派遣（東日本大震災）
	3月22日	消火隊 1隊×5名（岩手県九戸郡野田村）
	3月25日	消防資器材整備（バルーン型灯光器、A E D等） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
2012 平成24年	3月2日	緊急人員搬送車購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月8日	高圧空気容器(30Mpa)購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月9日	資機材搬送車購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月22日	消防資機材整備（特定小電力トランシーバー、潜水資機材、 O A機器、普及啓発資機材、自動心臓マッサージ器、救助資機材） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	4月1日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数が112人となる

## 消防の沿革 2012（平成24年）～2017（平成29年）

西暦 和暦	月 日	できごと
2012 平成24年	12月26日	警防広報車購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
2013 平成25年	2月28日	高規格救急自動車購入（防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
	3月8日	指揮車購入（日産自動車）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月15日	小型動力ポンプ付き水槽車Ⅰ型購入（いすゞ自動車） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月22日	救助資機材・水上バイク等購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月29日	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部から高規格救急自動車 寄贈（平成24年度交通事故対策活動）
	11月20日	防災研修センターリニューアルオープンセレモニー
	12月26日	救命処置普及強化事業（救命講習資機材、普及啓発車、OA機器、資機材、 自動体外除細動器等）（沖縄振興特別推進市町村交付金） 市内コンビニエンスストア（ファミリーマート、ローソン、ココストア） AED設置事業覚書締結
	12月28日	防災研修センター運用開始（沖縄振興特別推進市町村交付金）
2014 平成26年	3月18日	火災予防広報車購入（マツダ自動車）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月25日	救助工作車（Ⅱ型）購入（日野自動車） （防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
	3月31日	消防団ポンプ自動車（CD-1型）購入（日野自動車） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	12月18日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）購入（緊急防災・減災事業債）
2015 平成27年	2月27日	山内出張所 消防活動広報自動車購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月24日	消防救急デジタル無線設備整備工事（緊急防災・減災事業債）
2016 平成28年	3月15日	高機能消防指令センター整備事業（緊急防災・減災事業債）
	3月17日	小型動力ポンプ付き水槽車Ⅰ型購入（いすゞ自動車） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月30日	指揮支援広報自動車購入（マツダ自動車） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	4月20日	沖縄県より緊急消防援助隊派遣（熊本地方震災）
	4月23日	沖縄県大隊指揮隊に沖縄市から2人派遣（熊本県南阿蘇村）
2017 平成29年	2月17日	防火衣一式購入（石油貯蔵施設立地対策等補助金）
	2月21日	水難救助艇・ボート専用トレーラー購入（石油貯蔵施設立地対策等補助金）



## 消防の沿革 2017（平成29年）～2022（令和4年）

西暦 和暦	月 日	で き ご と
2017 平成29年	3月16日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）購入（株式会社モリタ） （防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
	3月31日	高宮城寛消防長退任
	4月1日	第15代目消防長に仲宗根繁就任 消防本部へ通信指令課を新設 総務課を名称改正し消防総務課へ改める 警防課を消防本部から消防署へ移管し警備課と統合
	10月13日	高規格救急自動車（トヨタ自動車）、高度救命処置用資機材購入 （緊急防災・減災事業債）
2018 平成30年	4月13日	特別救助隊発隊 15名
	11月19日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基改修設置（安慶田）
2019 平成31年	1月31日	防火衣、消防用ホース、除染資機材、救助資機材、救急資機材 購入（石油貯蔵施設立地対策等補助金）
	3月18日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）購入（株式会社モリタ） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	3月19日	水難救助支援車購入（沖縄振興特別推進市町村交付金）
2020 令和元年	3月6日	A E D、消防ホース、救助資機材、救急用資機材、防火衣購入 （石油貯蔵施設立地対策等補助金）
2020 令和2年	3月10日	高規格救急自動車（トヨタ自動車）、高度救命処置用資機材購入 （防衛施設周辺民生安定施設整備事業）
	10月7日	A E D購入（石油貯蔵施設立地対策等補助金）
2021 令和3年	3月31日	仲宗根繁消防長退任
	4月1日	第16代目消防長に知念順一就任 救助資機材購入（石油貯蔵施設立地対策等交付金） 防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（池原）
	11月30日	潜水資機材購入・救急資機材購入・A E D購入 （石油貯蔵施設立地対策等交付金）
2022 令和4年	1月31日	防火衣・デジタル携帯型無線機一式購入（石油貯蔵施設立地対策等交付金）
	3月22日	水槽付消防ポンプ自動車購入（日野自動車） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）

## 消防の沿革 2022（令和4年）～2024（令和6年）

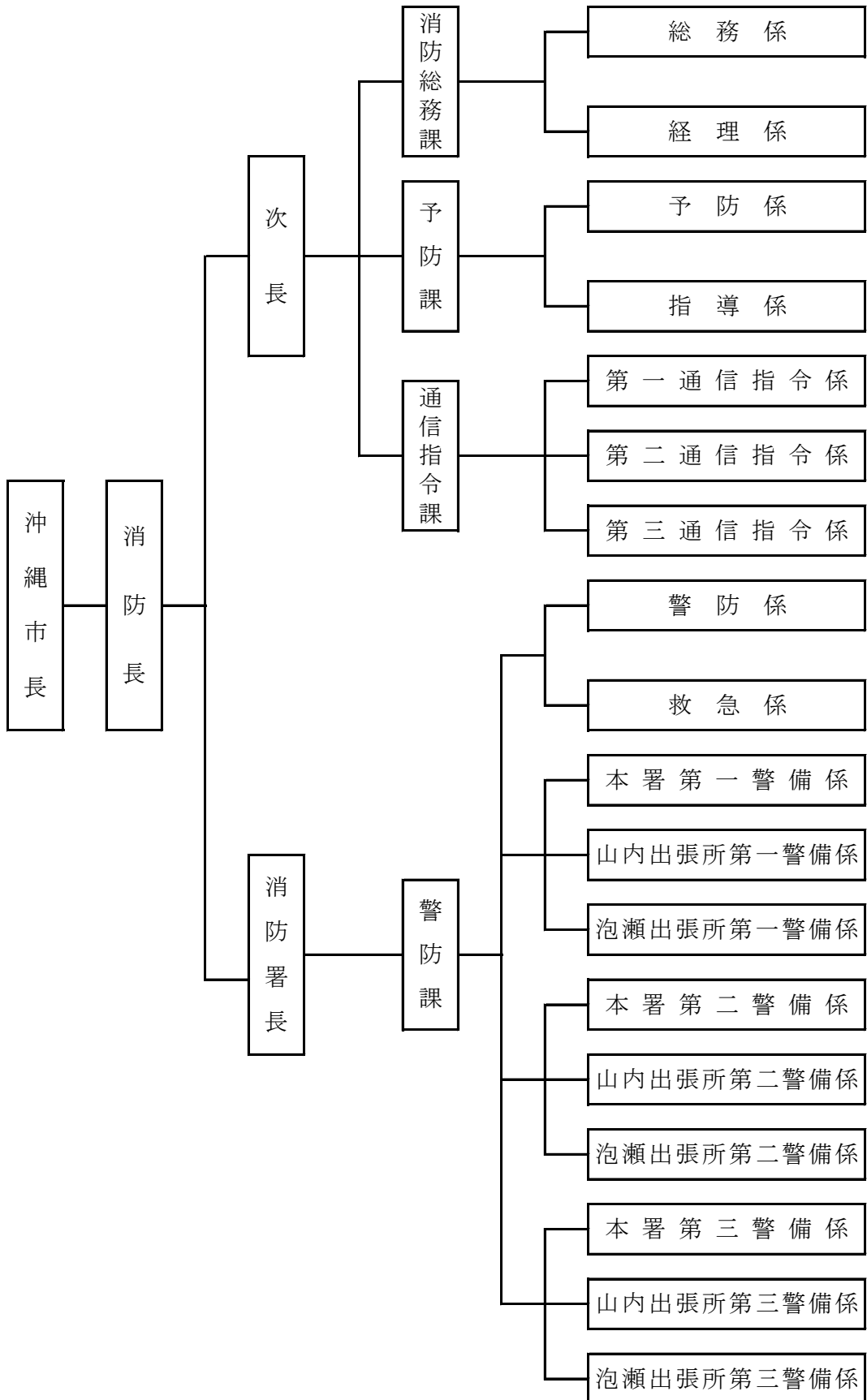
西暦 和暦	月 日	できごと
2022 令和4年	3月25日	高規格救急自動車（トヨタ自動車）・高度救命処置用資機材購入 （防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）
	9月20日	A E D購入（石油貯蔵施設立地対策等交付金）
2023 令和5年	1月18日	消防ポンプ自動車（C D-1型）購入（日野自動車） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
	2月15日	消防活動広報車・消防用ホース購入（日野自動車） （石油貯蔵施設立地対策等交付金）
	10月20日	A E D購入（石油貯蔵施設立地対策等交付金） 沖縄市内のコンビニエンスストアに配備 水難救助資機材一式購入（石油貯蔵施設立地対策等交付金） 救助資機材一式購入（石油貯蔵施設立地対策等交付金）
	1月12日	防火衣一式（石油貯蔵施設立地対策等交付金）
	2月27日	高規格救急自動車（トヨタ自動車）・高度救命処置用資機材購入 （特定防衛施設周辺整備調整交付金事業）泡瀬出張所へ配備
	3月12日	資機材搬送車購入（日野自動車）（緊急防災・減災事業債） 山内出張所へ配備
	3月31日	知念順一消防長退任
	2024 令和6年	4月1日

## 歴代消防長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	永山盛和	1974 (昭和49年4月1日)	1976 (昭和51年12月5日)
2代	仲原英典	1976 (昭和51年12月6日)	1980 (昭和55年2月20日)
3代	高江洲盛昇	1980 (昭和55年3月1日)	1985 (昭和60年3月31日)
4代	外間清昌	1985 (昭和60年4月1日)	1987 (昭和62年3月31日)
5代	太田守昭	1987 (昭和62年4月1日)	1990 (平成2年7月31日)
6代	小谷良英	1990 (平成2年8月1日)	1995 (平成7年3月31日)
7代	城間盛一	1995 (平成7年4月1日)	1997 (平成9年1月31日)
8代	喜友名朝光	1997 (平成9年2月1日)	1998 (平成10年1月31日)
9代	仲宗根眞昌	1998 (平成10年2月1日)	1999 (平成11年12月1日)
10代	内間安彦	1999 (平成11年12月2日)	2003 (平成15年3月31日)
11代	亀浜朝雄	2003 (平成15年4月1日)	2007 (平成19年3月31日)
12代	内間安彦	2007 (平成19年4月1日)	2007 (平成19年12月31日)
13代	長堂政美	2008 (平成20年1月1日)	2010 (平成22年3月31日)
14代	高宮城寛	2010 (平成22年4月1日)	2017 (平成29年3月31日)
15代	仲宗根繁	2017 (平成29年4月1日)	2021 (令和3年3月31日)
16代	知念順一	2021 (令和3年4月1日)	2024 (令和6年3月31日)
17代	島袋健	2024 (令和6年4月1日)	

# 消防本部組織図

2024(令和6年3月31日) 現在



## 各課の分掌事務

2024(令和6年3月31日) 現在

消防総務課 TEL : 098-929-1192 FAX : 098-983-4588

### ◇総務係

- (1) 消防関係条例、規則、規定等の制定改廃に関する事。
- (2) 職員の研修及び教養に関する事。
- (3) 公印の保管及び文書の収発保有に関する事。
- (4) 情報公開に関する事。
- (5) 消防業務の企画及び総合調整に関する事。
- (6) 貸与品及び物品の出納保管に関する事。
- (7) 消防職員委員会に関する事。
- (8) 消防団員の任免、報酬、服務、賞罰及び身分に関する事。
- (9) 消防団員の公務災害補償に関する事。
- (10) 他の課に属しない事。

### ◇経理係

- (1) 職員の人事に関する事。
- (2) 消防予算及び決算に関する事。
- (3) 職員の福利厚生保健に関する事。
- (4) 職員の公務災害補償に関する事。
- (5) 職員の任免、服務、賞罰及び身分に関する事。
- (6) 職員の健康相談及び健康管理に関する事。
- (7) 職員の安全及び衛生に関する事。
- (8) 施設の維持管理に関する事。

予防課 TEL : 098-929-0901 FAX : 098-983-4588

### ◇予防係

- (1) 防火宣伝及び啓発に関する事。
- (2) 火災予防の指導及び査察に関する事。
- (3) 火災原因及び損害に関する事。
- (4) 煙火及び林野火入れ並びに仮設興行場に関する事。
- (5) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関する事。
- (6) 防火委員会に関する事。
- (7) 防災研修センターに関する事。
- (8) その他災害に関する事。

### ◇指導係

- (1) 危険物製造所等の許認可に関する事。
- (2) 危険物製造所等の査察及び指導に関する事。
- (3) 防火対象物の管理及び防火管理者に関する事。
- (4) 建築同意事務に関する事。
- (5) 消防用設備等の指導及び検査に関する事。
- (6) 消防手数料に関する事。
- (7) 自衛消防組織に関する事。
- (8) 消防統計及び情報に関する事。

## 各課及び署所の分掌事務

2024(令和6年3月31日) 現在

通信指令課 TEL : 098-923-1426 FAX : 098-983-4632

### ◇通信指令係

- (1) 消防通信の運用に関する事。
- (2) 消防部隊の出動指令に関する事。
- (3) 通信施設の整備及び管理に関する事。
- (4) 消防気象観測に関する事。
- (5) 災害情報の収集及び伝達に関する事。
- (6) 関係機関との連絡に関する事。
- (7) 消防水利及び地理調査の入力に関する事。
- (8) 非常招集に関する事。
- (9) その他通信に関する事。

消防署/警防課 TEL : 098-929-0900 FAX : 098-983-4632  
山内出張所 TEL : 098-930-1190 FAX : 098-930-1194  
泡瀬出張所 TEL : 098-921-1538 FAX : 098-921-1539

### ◇第1警備係、第2警備係、第3警備係

- (1) 水火災の警戒防衛活動に関する事。
- (2) 救急及び救助活動に関する事。
- (3) 受持区域内の消防地理及び水利の調査に関する事。
- (4) 受持区域内の火災予防査察に関する事。

### ◇警防係

- (1) 警防業務の計画及び調査に関する事。
- (2) 消防水利の設置及び維持管理に関する事。
- (3) 開発行為に関する事。
- (4) 自主防災組織に関する事。
- (5) 消防相互応援に関する事。
- (6) 緊急消防援助隊に関する事。
- (7) 署所の連絡調整に関する事。
- (8) 消防設備機械器具の維持管理に関する事。
- (9) 消防団の訓練に関する事。
- (10) 訓練計画の調整に関する事。
- (11) 指揮隊の運用に関する事。
- (12) その他警防に関する事。

### ◇救急係

- (1) 救急業務の計画及び調査に関する事。
- (2) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (3) 市民に対する応急手当の普及啓発に関する事。
- (4) 救急統計に関する事。
- (5) 救急隊の運用計画及び訓練に関する事。
- (6) 救急技術の指導及び研究に関する事。
- (7) その他救急に関する事。

# 消防予算 (令和5年度当初)

(単位：千円)

項	目	節	区 分	当初予算額	
消防費 1,172,386	1. 常備消防費 992,725	1	報 酬	8,845	
		2	給 料	409,911	
		3	職 員 手 当	361,768	
		4	共 済 費	162,316	
		7	報 償 費	160	
		8	旅 費	2,359	
		10	需 用 費	15,098	
		11	役 務 費	6,786	
		12	委 託 料	1,361	
		13	使用料及び賃借料	699	
		17	備 品 購 入 費	19,434	
		18	負担金補助及び交付金	3,988	
		2. 非常備消防費 14,102	1	報 酬	8,938
			8	旅 費	1,125
			10	需 用 費	102
			11	役 務 費	125
			12	委 託 料	0
			17	備 品 購 入 費	534
	18		負担金補助及び交付金	3,278	
	3. 消防施設費 165,559	8	旅 費	100	
		10	需 用 費	37,044	
		11	役 務 費	5,923	
		12	委 託 料	33,655	
		13	使用料及び賃借料	109	
		14	工 事 請 負 費	0	
		15	原 材 料 費	25	
		17	備 品 購 入 費	66,125	
		18	負担金補助及び交付金	21,761	
		21	補償、補填及び賠償金	0	
		26	公 課 費	817	
				合 計	1,172,386

## 市の予算と消防費（予算現額）

（単位：円）

年度 \ 区分	市全体	消防費	比率（%）	備考
令和2年度	104,638,875,267	1,120,543,000	1.07	
令和3年度	91,572,910,171	1,170,999,000	1.28	
令和4年度	86,377,891,274	1,161,029,000	1.34	
令和5年度	85,063,536,419	1,177,325,000	1.38	

## 人口・世帯当り消防費所要額

（人口・世帯数は各年の3月末現在）

年度 \ 区分	一人当消防費 （円）	一世帯当消防費 （円）	算定の基準	
			人口	世帯数
令和2年度	8,205	18,126	142,713	64,603
令和3年度	8,195	17,916	142,887	65,362
令和4年度	8,156	17,577	142,351	66,054
令和5年度	8,298	17,609	141,886	66,859

## 消防職員の定数及び実員

2024(令和6年3月31日) 現在

階級 \ 区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	合計
	条例定数	112							
実員	1	2	16	35	37	9	15	0	115



# 職員の階級別年齢

2024(令和6年)3月31日現在

階級 年齢	階級							合計		
	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士			
合計	1	2	16	35	37	9	15	115	5人	10人
18歳										
19歳										
20歳										
21歳							3	3		
22歳										
23歳							4	4		
24歳							2	2		
25歳							1	1		
26歳							2	2		
27歳							1	1		
28歳							1	1		
29歳						1	1	2		
30歳										
31歳						4		4		
32歳					1	3		4		
33歳					2	1		3		
34歳					6			6		
35歳					7			7		
36歳					3			3		
37歳										
38歳					6			6		
39歳					3			3		
40歳				2	3			5		
41歳				2	5			7		
42歳				4	1			5		
43歳				4				4		
44歳				5				5		
45歳				1				1		
46歳			2	3				5		
47歳			1	3				4		
48歳			2	2				4		
49歳			1	1				2		
50歳			1	2				3		
51歳			2	1				3		
52歳			3	1				4		
53歳			2					2		
54歳				1				1		
55歳		1	1	1				3		
56歳		1		1				2		
57歳										
58歳			1					1		
59歳				1				1		
60歳	1							1		
61歳										
									5人	10人

# 職員の勤続年数

2024(令和6年)3月31日現在

階級 年別	階級							合計	勤続年数	
	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		5人	10人
合計	1	2	16	35	37	9	15	115		
1年未満							2	2		
1年							3	3		
2年							3	3		
3年							2	2		
4年							5	5		
5年										
6年										
7年						1		1		
8年										
9年					1	4		5		
10年					5	1		6		
11年					3	3		6		
12年					1			1		
13年					8			8		
14年					5			5		
15年					4			4		
16年			1	1				2		
17年				3	2			5		
18年				2	4			6		
19年				4	3			7		
20年	1		1	3	1			7		
21年										
22年			1	5				6		
23年			1	2				3		
24年				3				3		
25年				3				3		
26年			3	2				5		
27年			2	1				3		
28年										
29年			3	4				7		
30年										
31年			2					2		
32年										
33年		2	1	1				4		
34年			1					1		
35年										
36年				1				1		
37年										
38年										
39年										
40年									5人	10人

# 職員の実務研修状況

2024(令和6年3月31日) 現在

研修派遣先		昭和 30年度 ～ 平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	合計
消防大学校	上級幹部科	3						3
	幹部科	1					1	2
	予防科	4						4
	警防科	6						6
	救急科	4						4
	救助科	3						3
	危険物科	1	1					2
	火災原因調査科	5						5
	指揮隊長コース	3						3
	NBCコース	1						1
	違反是正特別講習	1						1
	消防団教育訓練推進者養成コース	2						2
	女性活躍推進コース	1						1
	新任教官科	1						1
NBCコース	1						1	
救急救命 九州研修所	指導救命士養成研修	7	1			1		9
	救命士処置拡大追加講習	6						6
	救急救命士研修	7						7
	薬剤投与追加講習	8						8
九州地区 実務研修	警防実務研修	3					1	4
	予防実務研修	5						5
	救急実務研修	1						1
	大規模災害対応実務研修	1	1			1		3
沖縄県 消防学校	初任科	130		5	2	3	2	142
	予防科	22						22
	危険物科	8			1			9
	予防査察科	18	1	1	1	1	1	23
	火災調査科	16	1			1		18
	救急専科一三五時間講習	38						38
	救急科II課程	34						34
	救急標準課程	82		5	2	1		90
	救急補講	6						6
	気管挿管講習	5						5
	気管挿管・薬剤投与追加講習	21						21
	救急救命士処置拡大研修	21	2					23
	新任救急隊員(救命士)研修	10					1	11
	救急隊長研修						2	2
	はしご自動車特別教育	2						2
	警防科	25						25
	特殊災害科	10			2		2	14
	ポンプ操法審査員研修	3						3
	ポンプ操法指導員研修	13	1		1			15
	防火管理者指導員研修	4						4
	水難救助課程	31	1			3		35
	初級幹部科	10				1		11
	中級幹部科	16					1	17
上級幹部科	3				1		4	
救助科	39	3			3	3	48	
クレーン玉掛技能	6						6	
機関科	3						3	
解毒剤注射器使用研修						2	2	
その他 の研修	玉掛技能	37	2	2	3	3	3	50
	移動式クレーン	30	3	2	3	3	3	44
	酸素欠乏硫化水素危険作業主任者	23	1	1	1	3	3	32
	圧縮空気製造事業所保安講習	18	2	1	2	3	3	29

# 職員の取得免許・資格等

2024(令和6年3月31日) 現在

階級 免許・資格	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
	職員数							
	1	2	16	35	37	9	15	115
大型自動車第一種運転免許	1	2	16	35	37	9	9	109
大型特殊自動車運転免許			1	1				2
普通自動車第一種運転免許	1	2	16	35	37	9	15	115
自動二輪運転免許			5	17	20	3	3	48
救急救命士			7	14	19	3	4	47
救急適任者	1	2	9	21	18	6	8	65
応急手当指導員		2	15	35	36	6	12	106
日赤水上安全法指導員				3	2			5
日赤水上安全法救助員		1	2	9	20	7		39
陸上特殊無線技士(2級)	1	2	7	6	2			18
陸上特殊無線技士(3級)			9	28	35	9	12	93
陸上特殊無線技士(電話乙)								
陸上特殊無線技士(電話甲)				1				1
潜水士	1	2	15	32	35	6	3	94
移動式クレーン	1	1	10	24	24	4	1	65
玉掛け技能	1	1	10	23	23	4		62
危険物取扱者(甲種)			1	1				2
危険物取扱者(乙種・1類)			1	3	2	1		7
危険物取扱者(乙種・2類)				1		1		2
危険物取扱者(乙種・3類)			1	3	1	1		6
危険物取扱者(乙種・4類)		1	5	13	14	2	8	43
危険物取扱者(乙種・5類)			1	3	1	1		6
危険物取扱者(乙種・6類)			1	3	1	1		6
危険物取扱者(丙種)				1	1			2
小型船舶操縦士(1級)				4				4
小型船舶操縦士(2級)	1	1	5	20	30	9	11	77
小型船舶操縦士(4級)								
小型船舶操縦士(特殊)			3	17	28	5		53
小型船舶操縦士(ジェット)				1	3	4	10	18
けん引			1	2				3
自動車整備士								
消防設備士(甲種・1類)			1					1
消防設備士(甲種・2類)			1					1
消防設備士(甲種・3類)								
消防設備士(甲種・4類)			1		1			2
消防設備士(甲種・5類)								
消防設備士(乙種・1類)			1					1
消防設備士(乙種・2類)			1					1
消防設備士(乙種・3類)			1					1
消防設備士(乙種・4類)			1	1	3			5
消防設備士(乙種・5類)			1					1
消防設備士(乙種・6類)			4	3	2			9
消防設備士(乙種・7類)			1		1			2
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	1	1	11	23	3			39
予防技術検定(予防査察)		1	1	6	4			12
予防技術検定(消防設備)			1	4	3			8
予防技術検定(危険物)			1	4	3			8
毒劇物取扱責任者					1			1
特定化学物質等作業主任								
第一種安全衛生管理者								
第二種安全衛生管理者	1		5	2				8
安全衛生推進者			4	9				13
特別管理産業廃棄物責任者			2	5				7
第二種電気工事士				1	1			2
ヘルパー3級-特別教育					9			9

## 車両及び艇（保有状況）

2024(令和6年3月31日)現在

NO	消防本部（車両8台）			
	車両番号	用途	年式及び車名	登録番号
1	1号車	司令車	平成28年 マ ツ ダ	沖縄 800 す 7528
2	2号車	総務連絡車	平成20年 ス ブ キ	沖縄 580 た 8141
3	3号車	予防広報車	平成22年 ト ヨ タ	沖縄 800 す 2671
4	4号車	予防広報車	平成26年 マ ツ ダ	沖縄 800 す 5901
5	5号車	警防広報車	平成24年 日 産	沖縄 800 す 4892
6	25号車	消防団ポンプ車（CD-1型）	平成26年 日 野	沖縄 830 す 25
7	24号車	消防団車	令和6年 日 産	沖縄 800 せ 4453
8	普及啓発車	普及啓発車	平成25年 日 産	沖縄 400 つ 3676

NO	消防署（車両13台）			
	車両番号	用途	年式及び車名	登録番号
1	救急2号車	高規格救急車	令和4年 ト ヨ タ	沖縄 830 さ 2204
2	救急4号車	高規格救急車	平成29年 ト ヨ タ	沖縄 830 さ 1709
3	救急5号車	高規格救急車	平成25年 ト ヨ タ	沖縄 831 み 119
4	6号車	指揮車	平成25年 日 産	沖縄 800 す 5039
5	7号車	人員搬送車	平成24年 日 産	沖縄 800 す 4263
6	8号車	資機材搬送車	平成24年 い す ゞ	沖縄 800 す 4280
7	12号車	救助工作車	平成26年 日 野	沖縄 831 る 119
8	13号車	はしご付消防自動車	平成21年 日産テイエッセ	沖縄 800 は 1011
9	18号車	水槽付ポンプ車（Ⅱ型）	平成29年 日 野	沖縄 830 せ 1703
10	19号車	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅰ型）	平成28年 い す ゞ	沖縄 800 は 1569
11	22号車	水槽付ポンプ車（Ⅱ型）	平成26年 日 野	沖縄 830 さ 1412
12	26号車	総務連絡車	平成14年 ト ヨ タ	沖縄 500 そ 9459
13	28号車	機動連絡車	平成26年 ト ヨ タ	沖縄 800 す 5813

NO	山内出張所（車両5台）			
	車両番号	用途	年式及び車名	登録番号
1	救急1号車	高規格救急車	令和2年 ト ヨ タ	沖縄 830 た 2002
2	15号車	水槽付ポンプ車（CD-Ⅰ型）	令和5年 日 野	沖縄 830 そ 2301
3	21号車	連絡車	平成27年 日 産	沖縄 800 す 6677
4	23号車	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅰ型）	平成25年 い す ゞ	沖縄 800 は 1318
5	9号車	資機材搬送車	令和6年 日 野	沖縄 800 せ 4434

NO	泡瀬出張所（車両5台）（救助艇1・水上バイク1・トレーラー2）			
	車両番号	用途	年式及び車名	登録番号
1	救急3号車	高規格救急車	令和6年 ト ヨ タ	沖縄 830 せ 2402
2	10号車	消防活動広報車	令和5年 日 野	沖縄 800 せ 3579
3	11号車	水難救助支援車	平成31年 い す ゞ	沖縄 830 す 3103
4	16号車	水槽付ポンプ車（Ⅱ型）	平成31年 日 野	沖縄 830 せ 1903
5	17号車	水槽付ポンプ車（Ⅱ型）	令和4年 日 野	沖縄 830 さ 2203
6	救助艇	水難救助艇	平成29年 ZODIAC	第 296 - 26462
7	救助艇	水上バイク	平成25年 B R P	第 296 - 25301
8	トレーラー	救助艇トレーラー	平成29年 L O F T	沖縄 800 る 256
9	トレーラー	水上バイクトレーラー	平成25年 L O F T	沖縄 800 る 176

# 消防職員の訓練実施状況

2023 (令和5年)

訓練種別	内 容	回数	訓練 人数	時 間 (分)
体 力 錬 成 訓 練	基礎体力の錬成	13	62	1,470
	持久走訓練等			
ロープ基本・応用訓練	ロープ結索訓練	5	16	465
	ロープ応用訓練			
資 器 材 取 扱 訓 練	消防車両及び救急車に積載された各種器具取り扱い訓練	73	863	5,780
陸 上 活 動 訓 練	沖縄県救助技術指導会向け訓練	139	348	15,320
水 上 活 動 訓 練	無減圧潜水の範囲での搜索訓練	42	297	7,348
	救助艇・水上バイクの取扱操縦訓練			
火 災 活 動 訓 練	火災救助活動	185	1,152	13,740
	検索救助活動			
	ポンプ応用訓練			
特 殊 災 害 訓 練	NBC災害活動訓練	12	62	990
救 急 活 動 訓 練	救急勉強会	145	925	12,945
	救急症例検討会			
	救急実動訓練			
車 両 操 作 取 扱 訓 練	大型消防車両の走行訓練	44	165	2,640
	狭隘地域の走行訓練			
総 合 演 習 ・ 訓 練	沖縄市防災訓練	4	15	1,140
	中部消防総合演習			
	沖縄県消防演習			
そ の 他	訓練礼式	139	825	11,725
	新職員訓練			
	消防団訓練			
	各種座学その他			
合 計		801	4,730	73,563

## 救助隊の設置状況

2024(令和6年3月31日) 現在

救助隊数	救助隊員数								救助隊の活動車両等
	消防署		山内出張所		泡瀬出張所		通信指令係		
消防救助隊 (兼任) 15名	第1小隊	7	第1小隊	0	第1小隊	5	第1通信	0	はしご車
	第2小隊	7	第2小隊	0	第2小隊	5	第2通信	0	水難救助支援車
水難救助隊 (兼任) 21名	第3小隊	7	第3小隊	0	第3小隊	5	第3通信	0	水難救助艇
	合計	21		0		15		0	水上バイク

## 事故種別/救助出動件数及び活動件数

種別 件数	火災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数	1		11	1			30			21	64
活 動 件 数	1		8				25			20	54

## 事故種別/救助人員及び搬送車両等の内訳

種別 車両及び人員	火災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
救助人員	1		9				18			18	46
搬送 車 両 等 の 内 訳	救 急 車	1	8				12			7	28
	消防機関の車両										0
	消 防 機 関 以 外 の 車 両										0
	そ の 他										0
	合 計	1	0	8	0	0	0	12	0	0	7

## 消防機関の出動状況

2023（令和5年）

種 別 区 分		出動件数	出動人員	出動車両台数
火 災	建 物	17	277	88
	建 物 以 外	8	62	19
	そ の 他	14	80	24
救 急		9,765	29,344	9,765
救 助		64	462	148
風 水 害		307	955	307
演 習 訓 練 等		811	6,548	182
警 防 調 査		24	72	24
火 災 調 査		39	117	55
特 別 警 戒		32	121	38
誤 報 等		0	0	0
そ の 他		72	261	84
合 計		11,153	38,299	10,734

## 過去5年間の出動件数及び出動人員

年 別 区 分	出動件数	出動人員
2019 (平成31年) (令和元年)	9,963	36,146
2020 (令和2年)	9,411	34,711
2021 (令和3年)	9,397	34,238
2022 (令和4年)	10,874	37,709
2023 (令和5年)	11,153	38,299



# 消防水利現勢（自治会別）

2024(令和6年3月31日) 現在

NO	種別	消火栓 (基)	防火水槽 (40m <sup>3</sup> )	NO	種別	消火栓 (基)	防火水槽 (40m <sup>3</sup> )
	自治会				自治会		
1	越来	28	1	20	宮里	27	0
2	城前町	9	0	21	吉原	8	0
3	照屋	36	1	22	松本	44	3
4	安慶田	24	1	23	明道	9	1
5	室川	12	1	24	知花	52	2
6	住吉	9	0	25	登川	48	3
7	嘉間良	11	0	26	池原	21	3
8	八重島	7	0	27	古謝	25	1
9	センター	27	2	28	高原	44	0
10	胡屋	51	3	29	大里	19	1
11	中の町	37	1	30	東桃原	10	0
12	園田	17	0	31	比屋根	36	1
13	諸見里	33	2	32	与儀	22	1
14	山内	47	2	33	泡瀬	66	0
15	山里	21	0	34	泡瀬第一	10	0
16	久保田	14	0	35	泡瀬第二	7	0
17	南桃原	26	0	36	泡瀬第三	12	1
18	美里	60	3	37	海邦町	25	0
19	東	39	0	合計		993	34

## 市内の消防水利設置状況

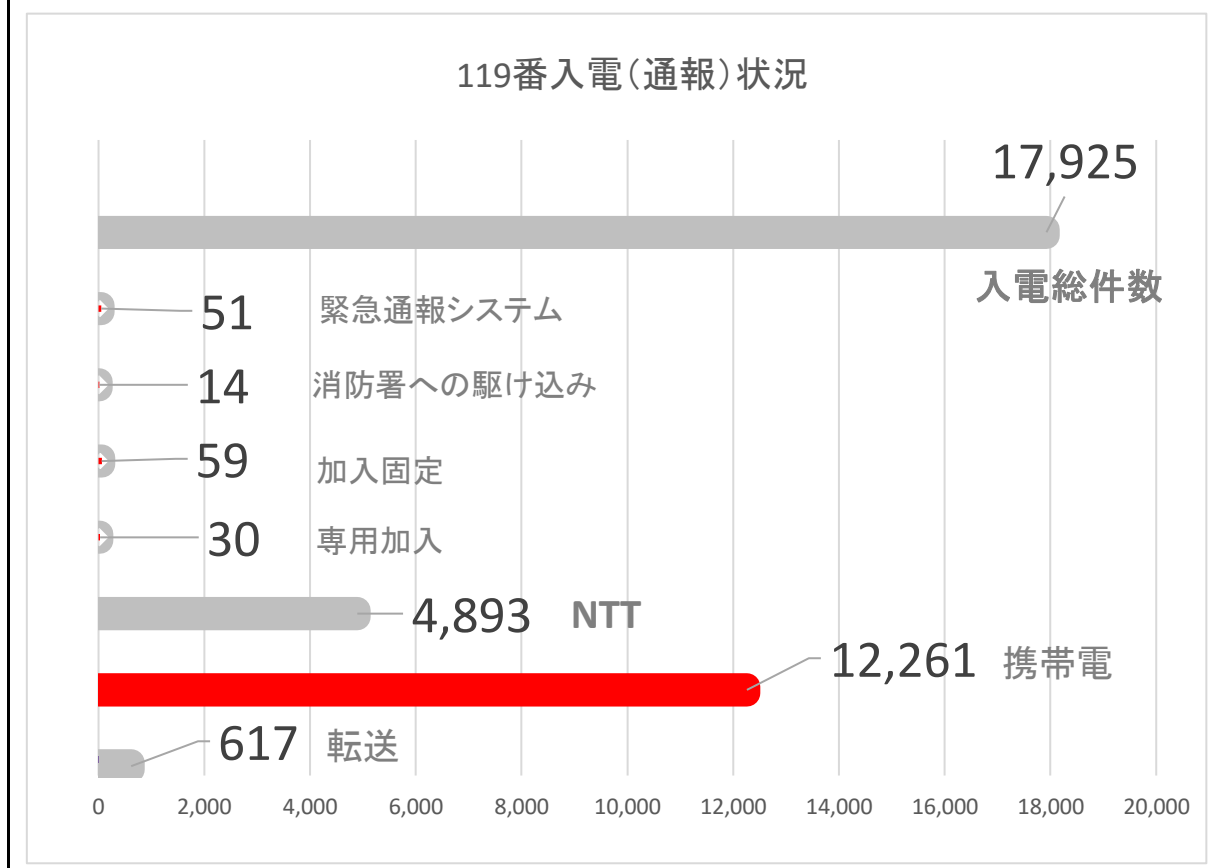
区分	消火栓(基)	防火水槽 (40m <sup>3</sup> )		消防用水 (30m <sup>3</sup> )		プール (面)
	993	公設	私設	公設	私設	市内学校
	28	28	6	0	2	10
	非常用消火栓			消防用水 (20m <sup>3</sup> )		自然水利
	松本	31番	中の町	38番	公設	海・川等
	大里	9番	山里	20番	私設	
	比屋根	5番		3		
合計	1,044					

# 119入電状況

2023(令和5年)

区分 月別	転送 件数	携帯 総数	N T T	専用 加入	加入 固定	駆 込	緊急 通報	合 計
1月	33	1,053	391	14	7	0	0	1,498
2月	28	797	397	1	3	2	3	1,231
3月	38	956	372	0	1	0	2	1,369
4月	53	833	324	1	0	1	1	1,213
5月	43	1,046	372	0	1	0	3	1,465
6月	41	997	413	1	5	1	3	1,461
7月	65	1,165	362	3	6	3	2	1,606
8月	106	1,629	521	1	27	5	0	2,289
9月	54	1,006	592	8	1	0	24	1,685
10月	53	979	392	0	3	0	5	1,432
11月	56	873	380	1	3	0	3	1,316
12月	47	927	377	0	2	2	5	1,360
合 計	617	12,261	4,893	30	59	14	51	17,925

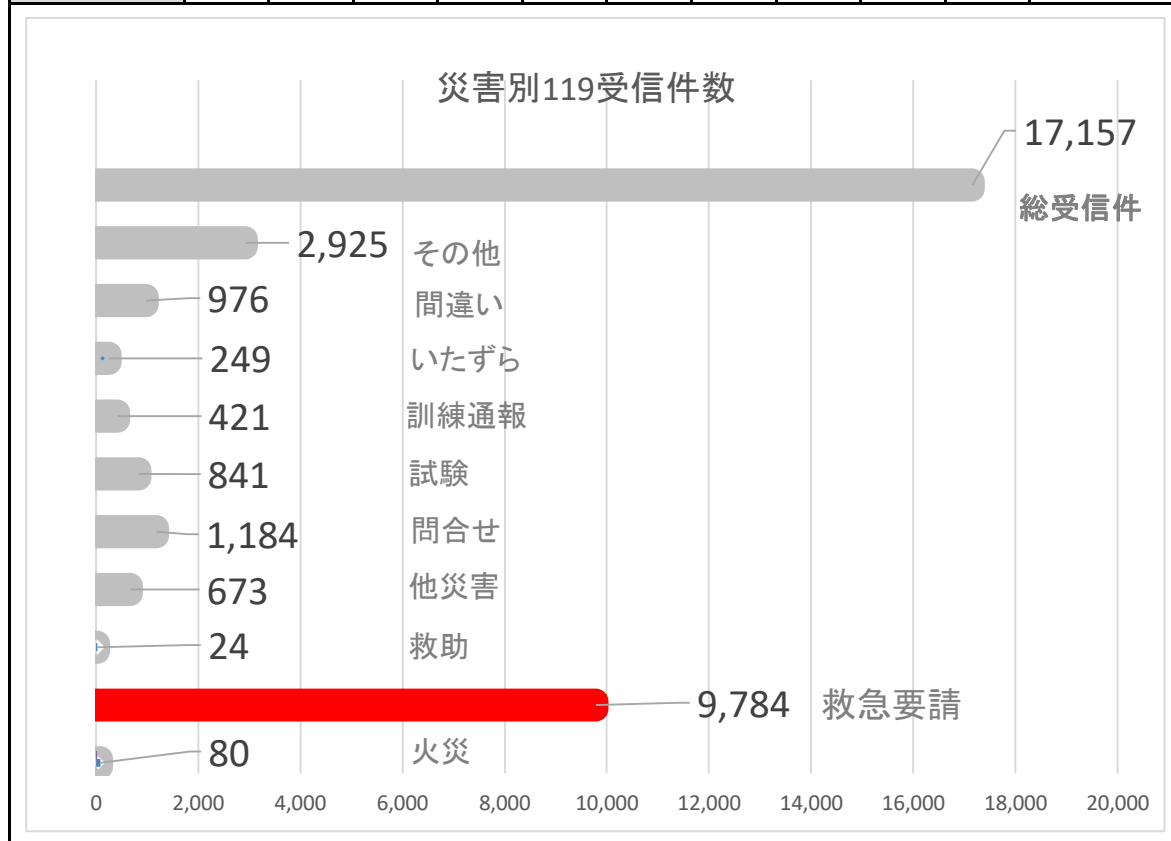
※ I P 電話は、N T T に含める。



# 災害別119受信件数

2023(令和5年)

種別 月別	火災	救急	救助	他災害	問合せ	試験	訓練通報	いたずら	間違い	その他	合計
1月	3	926	0	18	127	60	21	43	90	162	1,450
2月	17	682	0	11	105	91	41	14	71	160	1,192
3月	11	739	0	32	83	61	50	31	117	223	1,347
4月	3	704	2	15	54	74	16	28	80	179	1,155
5月	10	796	0	42	71	72	26	17	92	290	1,416
6月	6	853	3	52	58	56	48	5	96	243	1,420
7月	1	948	2	39	99	38	29	15	78	275	1,524
8月	3	947	4	356	248	58	29	9	84	423	2,161
9月	6	858	1	32	109	116	39	40	79	310	1,590
10月	7	790	8	26	90	92	37	12	86	209	1,357
11月	4	747	1	19	77	63	50	22	47	217	1,247
12月	9	794	3	31	63	60	35	13	56	234	1,298
合計	80	9,784	24	673	1,184	841	421	249	976	2,925	17,157



## 防火対象物

消防法では、建築物など火災予防行政の主たる対象となるものを「防火対象物」と定義し、そのうち消防法施行令別表第一に掲げる「防火対象物」については、その用途や規模等に応じて、火災予防のための人的体制の整備や消防用設備等の設置、防災物品の使用などを義務付けています。

## 防火対象物件数

2024（令和6年3月31日）現在

防火対象物区分			数	防火対象物区分			数
1項	イ	劇場・映画館	9	9項	イ	蒸気・熱気浴場	2
		観覧場	42			ロ	公衆浴場
	公会堂 集会場						
2項	イ	キャバレー・ ナイトクラブ	16	10項		車両の停車場・船舶若しくは航空機の発着場	1
		遊技場・ダンスホール	12	11項		神社・寺院・教会	22
	ハ	性風俗関連特殊 営業を営む店舗	1	12項	イ	工場・作業場	128
	二	カラオケボックス等	5			ロ	映画スタジオ テレビスタジオ
3項	イ	待合・料理店 その他類するもの	0	13項	イ		車庫・駐車場
		ロ	飲食店			58	ロ
4項		百貨店・マーケット その他の物品販売店舗	180	14項		倉庫	
5項	イ	旅館・ホテル 宿泊所	208	15項		前各項に該当 しない事業所	252
		ロ	寄宿舎・下宿 共同住宅	1,730	16項	イ	特定用途部分が存する 複合用途防火対象物
6項	イ	病院・診療所 助産所	62	ロ			上記以外の複合 用途防火対象物
		ロ	福祉及び厚生施設		47	16項の2	
	ハ	老人デイサービス等 保育園	184	17項		重要文化財等	0
	二	幼稚園・特別支援学校	27	18項		延長50m以上の アーケード	0
7項		各種学校等	138	19項		市町村長の指 定する山林	0
8項		図書館	2	20項	総務省令で定める 舟車（省令6条）		0
		美術館					
合計				3,930			

## 消防用設備等の審査と検査

建築物に設置が義務づけられている消防用設備等については、工事着手前にその計画が消防法令の技術基準に適合しているかどうかを審査し、工事が完成したとき計画どおり設置されているかについて検査を行います。

2024（令和6年3月31日）現在

設備名 月別	消火器	屋内消火栓設備 (パツケージ型消火設備含む)	スプリンクラー設備 (パツケージ型自動消火設備含む)	自動火災報知設備	非常警報器具及び設備	水噴霧消火設備等	避難器具	誘導灯及び誘導標識	連結送水管	屋外消火栓設備	火災通報装置	非常コンセント設備	消防用水	合計
4月	7		1	10	2		3	6			2			31
5月	1		1	4				2						8
6月	8	1		7	1	2	4	1	4		2			30
7月	2	1		7		1	2	2	1		1	1		18
8月	5	2	1	7	4		2	1						22
9月	7	1		4			1	3			1			17
10月	6	1	1	9	1			6						24
11月	8		2	15	2	1	4	4	1		2			39
12月	3	1		4			1	3	1		1			14
1月	4			6			1	1	1		2			15
2月	10		1	18	3	3	1	8						44
3月	10	1	2	14	4	4	3	9	1		3			51
合計	71	8	9	105	17	11	22	46	9	0	14	1	0	313

## 過去3年間の消防用設備等検査状況

年度別	令和3年度	令和4年度	令和5年度
検査件数	421	344	313

# 用途別建築同意件数

2024（令和6年3月31日）現在

1	イ	劇場・映画館・観覧場					1												1
	ロ	公会堂・集会場																	0
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ																	0
	ロ	遊技場・ダンスホール																	0
	ハ	性風俗関連																	0
	ニ	カラオケボックス																	0
3	イ	待合・料理店																	0
	ロ	飲食店																	0
4		百貨店・マーケット・その他物品販売店舗	1		2	2	1			1	2	1							10
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所			1														1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	2	3	6		6	3	1	1	2	3	1	3					31
6	イ	病院・診療所・助産所			1	1				1		1	1						5
	ロ	福祉及び厚生施設																	0
	ハ	老人デイサービス等・保育園	1			1		1						2					5
	ニ	幼稚園・特別支援学校																	0
7		学校各・種学校等								1									1
8		図書館・美術館																	0
9	イ	蒸気・熱気浴場																	0
	ロ	公衆浴場																	0
10		車両の停車場																	0
11		神社・寺院・教会																	0
12	イ	工場・作業場	1		1						1								3
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ																	0
13	イ	車庫・駐車場									1		1						2
	ロ	飛行機格納庫																	0
14		倉庫		1		1					1		3						6
15		前各項目に該当しない事業所	3				2	5		3	3	3	1	2					22
16	イ	特定用途が存する複合用途防火対象物	1	1		1			1				1	1					6
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	1	1	2			1	1	1									7
16の2		地下街																	0
17		重要文化財等																	0
18		延長50m以上のアーケード																	0
19		市町村長の指定する山林																	0
20		総務省令で定める舟車（省令50条）																	0
		専用住宅等	3	4	6	4	2		5	2	3	7	4	2					42
合 計			13	11	19	9	12	10	9	9	14	15	13	8					142

# 消防用設備等設置状況（1）

2024（令和6年3月31日）現在

防火対象物		消防設備名		自動火災報知設備	スプリンクラー設備	屋内消火栓設備	水噴霧消火設備等	非常警報設備等	避難器具	誘導灯及び誘導標識	動力消防ポンプ設備	連結送水管	合計
		設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置		
1	イ	劇場・映画館観覧場	9	2	6	1	8		9		1	36	
	ロ	公会堂・集会場	30	1	4	2	24		33			94	
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ	11				3	5	16			35	
	ロ	遊技場・ダンスホール	12		2	4	9		12			39	
	ハ	性風俗関連										0	
	ニ	カラオケボックス	5			2			4			11	
3	イ	待合・料理店										0	
	ロ	飲食店	31				35	4	71			141	
4		百貨店・マーケットその他物品販売店舗	99	5	8	8	54	2	179		1	356	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	143	2	22	12	8	14	149		10	360	
	ロ	寄宿舎・下宿共同住宅	1,002	5	50	43	60	779	47		154	2,140	
6	イ	病院・診療所助産所	44	8	3	4	28	12	62		2	163	
	ロ	福祉及び厚生施設	52	48	2	4	9	5	52		1	173	
	ハ	老人デイサービス等保育園	131	4	2	3	32	16	229			417	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	27		5	1	5	1	17			56	
7		学校・各種学校等	124		109	6	97	11	76			423	
8		図書館・美術館	2	1	2	1	2		2			10	
合計			1,722	76	215	91	374	849	958	0	169	4,454	

## 消防用設備等設置状況 (2)

2024 (令和6年3月31日)現在

防火対象物		消防設備名										
		自動火災報知設備	スプリンクラー設備	屋内消火栓設備	水噴霧消火設備等	非常警報設備等	避難器具	誘導灯及び誘導標識	動力消防ポンプ設備	連結送水管	合計	
		設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置		
9	イ	蒸気・熱気浴場	2									2
	ロ	公衆浴場										
10		車両の停車場	1									1
11		神社・寺院・教会	13			1	10	1	12			37
12	イ	工場・作業場	70		19	10	7		26		2	134
	ロ	映画スタジオ テレビスタジオ										
13	イ	車庫・駐車場	8			7			3			18
	ロ	飛行機格納庫										
14		倉庫	35		6		1	1	22			65
15		前各項目に該当しない 業	112	1	22	18	50	12	132		4	351
16	イ	特定用途が存する 合用途防火対象物	371	56	27	21	55	96	408		22	1,056
	ロ	上記以外の 合用途防火対象物	45		2	3	19	37	30			136
16の2		地下街										
17		重要文化財等										
18		延長50m以上のアーケード										
19		市町村長の指定する山林										
20		総務省令で定める舟車 (省令50条)										
合計			657	57	76	60	142	147	633	0	28	1,800

## 消防用設備等設置状況 (総計)

2024 (令和6年3月31日)現在

合計	2,379	133	291	151	516	996	1,591	0	197	6,254
----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	---	-----	-------

※消防用設備等設置状況 (総計) はP33、P34の合計となっています。



# 建築同意件数（町別）

2024（令和6年3月31日）現在

町名	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
安慶田	1										1	1	3
明道		1											1
泡瀬	1	1			1	3							6
池原	1			1					1				3
上地	1					1			1				3
大里		1	1						1	3		1	7
海邦町					1								1
海邦							1						1
嘉間良													0
久保田								1	1				2
倉敷									1				1
越来							1	1	1				3
古謝		1		1	2								4
古謝津嘉山町											1		1
胡屋			2	1	1								4
城前町											1		1
住吉								1					1
園田								1			3		4
高原		1	1						1			2	5
知花	2	1				1	1				3		8
中央			1										1
照屋	1		2										3
桃原			1										1
仲宗根町		1						1					2
登川	2		2	1		1	1	2	2	4			15
東				1					1				2
比屋根			1							3		1	5
松本					1				3		1		5
美里		1	2		1			2		2	1		9
美里仲原町													0
南桃原	2				1						1		4
美原				1	2							1	4
宮里		1	1			2						2	6
室川			1					1					2
諸見里	2	1	1										4
八重島													0
山内					2	2		1	1		1		7
山里		1		3				2					6
与儀			3						1	3			7
その他													0
基地内													0
合計	13	11	19	9	12	10	9	9	14	15	13	8	142

# 中高層建物（4階以上）の現況

2024（令和6年3月31日）現在

防火対象物		階数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
			階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	
1	イ	劇場等	1		1									2
	ロ	公会堂等	1	1										2
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	1	3										4
	ロ	遊技場又はダンスホール	1											1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等												0
	ニ	カラオケボックス等		1										1
3	イ	待合・料理店等												0
	ロ	飲食店	2	1	1									4
4		百貨店・マーケット・物品販店舗等	2	1	1									4
5	イ	ホテル・旅館・宿泊所	6	7	4	3	3	3	1				1	28
	ロ	共同住宅	613	94	60	37	33	15	42	9	5	5	13	926
6	イ	病院等	5	8	3		2							18
	ロ	老人ホーム等	8	1	1									10
	ハ	デイサービス・保育園等	7	1										8
	ニ	幼稚園・特別支援学校												0
7		学校等	19	2										21
8		図書館等	1											1
9	イ	サウナ浴場等												0
	ロ	公衆浴場等												0
10		停車場等												0
11		神社等	1											1
12	イ	工場等	1		2	1	1							5
	ロ	映画スタジオ等												0
13	イ	駐車場	1											1
	ロ	格納庫等												0
14		倉庫等	1											1
15		事業所等	17	2	3		2							24
16	イ	特定複合建物	92	27	26	9	4	4	2				1	165
	ロ	その他の建物	40	3	7									50
17		文化財												0
合計			820	152	109	50	45	22	45	9	5	5	15	1277

## 避難訓練実施状況

2023（令和5年）

業態 月別	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	ホテル	集会場	老人ホーム	福祉施設	物品販売店舗	遊技場	病院・診療所	事業所	共同住宅	合計
1月	5	2	2					2		1		2			14
2月	11							2	1	7		3	4		28
3月	5					3	2	10		2	1	2	3		28
4月	1				1			1		2					5
5月	3	1			1			1	2	8	3	2			21
6月	7	2			1	1		3	2	8	2	2	3		31
7月	6	1			1	1		3		3	1	1	1	1	19
8月	5						1	3	4	3		2	1		19
9月	9	1	1				1	3		1		1			17
10月	3				1	1		5		5	3	2	3		23
11月	3	3	3	1		1		5	1	10	1	3	6		37
12月	6	1			1	1		6	9	5	2	2	1		34
合計	64	11	6	1	6	8	4	44	19	55	13	22	22	1	276

## 避難訓練参加状況

2023（令和5年）

1月	2,385	7月	1,575
2月	1,225	8月	652
3月	899	9月	1,846
4月	1,335	10月	1,538
5月	1,664	11月	3,123
6月	1,183	12月	1,546
合計		18,971	

## 危険物規制

消防法に定める危険物は、引火性・発火性のある物品で、いずれも火災になりやすく、しかも消火が困難な物品です。危険物による災害を防止するため、一定量以上の危険物を貯蔵し又は取扱う場所は、危険物施設として、許可を受けなければならないこととして規制されています。

### 危険物製造所等の許可施設数

2024（令和6年3月31日）現在

施設名		施設数	
製造所		0	
貯蔵所	屋内	5	
	屋内タンク	4	
	屋外タンク	38	
	地下タンク	24	
	簡易タンク	1	
	移動タンク	70	
	屋外	3	
	小計	145	
取扱所	給油所	営業用	26
		自家用	12
	一般		30
	小計		68
合計		213	

### 危険物製造所等の届出等状況

2024（令和6年3月31日）現在

各種届出	件数
危険物製造所等の変更届	25
危険物製造所仮使用承認	2
危険物仮取扱・仮貯蔵申請	3
危険物製造所等の廃止届	2
危険物製造所等の設置者の変更	29
予防規程（制定・変更）認定申請	3
危険物保安監督者選任届出	10
タンク検査（危険物・少量危険物）	6
危険物休止届出書	0
危険物譲渡引渡届	0
合計	80

# 危険物製造所等の許可検査状況

2024（令和6年3月31日）現在

製造所等 月別	屋内タンク貯蔵所			屋外タンク貯蔵所			屋内貯蔵所			地下タンク貯蔵所			移動タンク貯蔵所			給油取扱所			一般取扱所			屋外貯蔵所			
	設置	変更	完成	設置	変更	完成	設置	変更	完成	設置	変更	完成	設置	変更	完成	設置	変更	完成	設置	変更	完成	設置	変更	完成	
4月													2		2										4
5月																	1	1							2
6月				1						1															2
7月																	1								1
8月																		1							1
9月											1			1											2
10月												1		1											2
11月												1		1											2
12月						1							3		3		1	1							9
1月															1										1
2月																									0
3月																									0
合計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	7	0	9	0	3	3	0	0	0	0	0	0	26

## 火災予防条例による規制

火を使用する設備の位置・構造や少量危険物・指定可燃物の取扱いの基準をはじめ、火災予防上必要な事項を定めた火災予防条例による規制も火災の未然防止に役立っています。

## 火災予防条例に係る各種届出件数状況

		2024（令和4年）	2024（令和5年）
条例 第42条	防火対象物使用開始	120	117
条例 第43条（5）	ボイラー設置	5	5
条例 第43条（9）	変電設備設置届	9	7
条例 第43条（10）	急速充電設備	0	1
条例 第43条（11）	燃料電池設備設置届	0	0
条例 第43条（12）	発電設備設置届	1	4
条例 第43条（13）	蓄電池設備設置届	9	3
条例 第43条（14）	ネオン管灯設備設置届	0	0
条例 第43条（15）	水素ガスを充填する 気球の設置届	0	0
条例 第44条（1）	火災とまぎらわしい 行為の届	15	10
条例 第44条（2）	煙火打上げ・仕掛け届	7	8
条例 第44条（3）	催物開催届	13	13
条例 第44条（4）	水道の断水・減水届	0	0
条例 第44条（5）	道路工事届	113	118
条例 第44条（6）	露店等の開設届	43	36
条例 第45条	少量危険物貯蔵又は 取扱いの届出	6	7

## 火災概況

区 分	2022(令和4年)	2023(令和5年)
火災発生件数	32 件	39 件
火災損害見積額	29,083,000 円	20,834,000 円
建物焼損面積	944 m <sup>2</sup>	358.4 m <sup>2</sup>
林野焼損面積	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
焼損棟数	28 棟	17 棟
り災世帯数	19 世帯	13 世帯
り災人員	37 人	26 人
死者	3 人	2 人
負傷者	3 人	5 人
1日平均火災発生件数	0.088 件	0.107 件
1日平均損害見積額	79,679 円	57,079 円
1日平均焼損棟数	0.08 棟	0.05 棟
1日平均焼損面積 (建物)	2.59 m <sup>2</sup>	0.98 m <sup>2</sup>
火災1件当りの 損害見積額	908,844 円	534,205 円
り災世帯1世帯当りの 損害額	1,530,684 円	1,602,615 円
建物火災1件当りの 焼損面積	29.50 m <sup>2</sup>	21.08 m <sup>2</sup>
沖縄市の人口	142,684 人	142,248 人
沖縄市の世帯数	65,795 世帯	66,550 世帯

※人口及び世帯数は令和5年12月1日時点のものとなっています。

# 火災統計総括

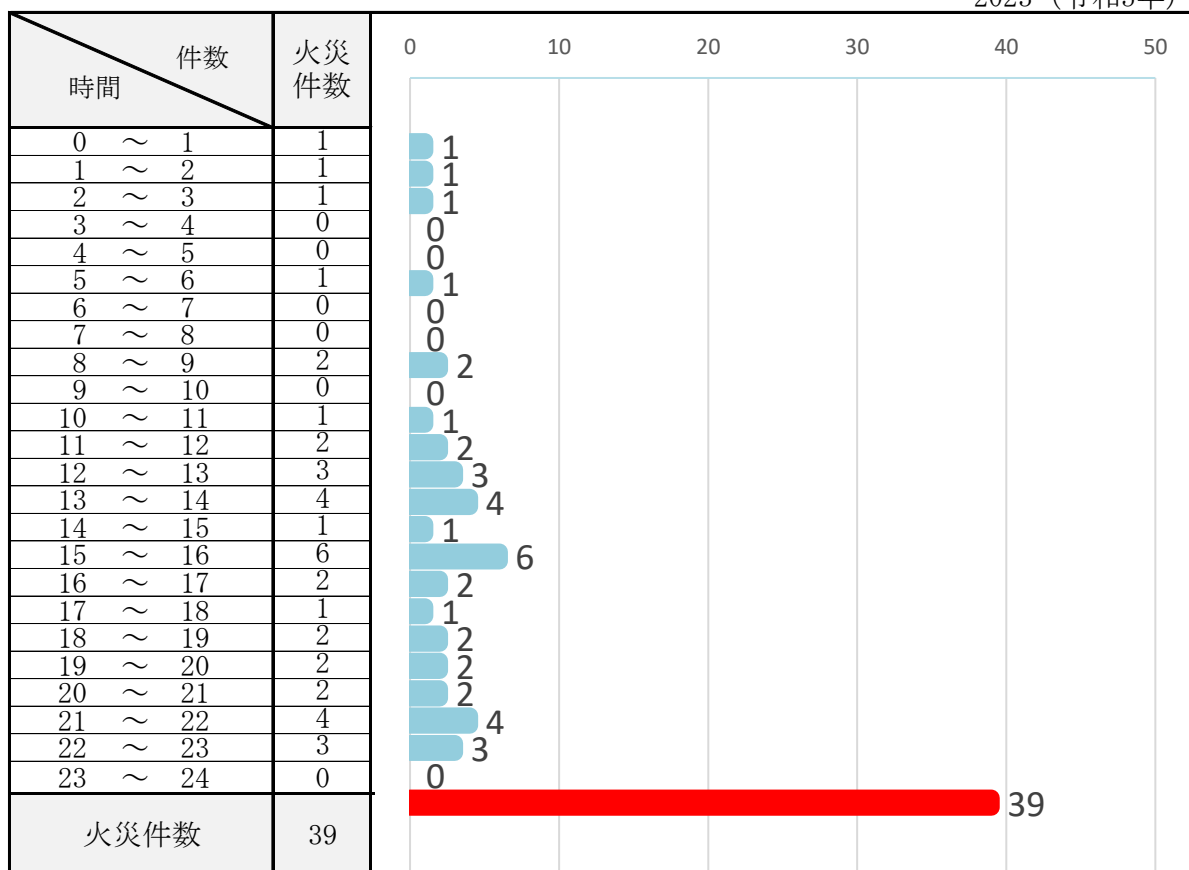
2023 (令和5年)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
		月別火災件数	3	6	4	2	2	4	1	2	4	2	3	6	39
火災種別	建物	1	4	1	1	2	2	1	1			1	3	17	
	林野													0	
	車両	2		1			1				2	1	1	8	
	船舶													0	
	航空機													0	
	その他		2	2	1		1		1	4		1	2	14	
焼損程度	火元棟	全焼				1							1	2	
		半焼												0	
		部分焼		2		1		1				1	1	6	
		ぼや	1	2	1		1	1	1	1			1	9	
	延焼棟	全焼													0
		半焼													0
		部分焼													0
		ぼや													0
り災世帯	全損					1	1						1	3	
	半損													0	
	小損	1	2	1	1		1	1	1			1	1	10	
罹災人員		1	4	1	5	2	3	2	3			1	4	26	
死傷者	死者						1					1		2	
	負傷者		3		1					1				5	
焼損面積	建物㎡		57	3	18	108	13.3		1				158.2	358.5	
(単損害：見千積円額)	建物		7,200	3		154	1,687					70	9,498	18,612	
	内容物	1	403		5	144	0		50				623	1,226	
	車両	102		115			170						267	654	
	その他									342				342	
	合計	103	7,603	118	5	298	1,857	0	50	342	0	70	10,388	20,834	



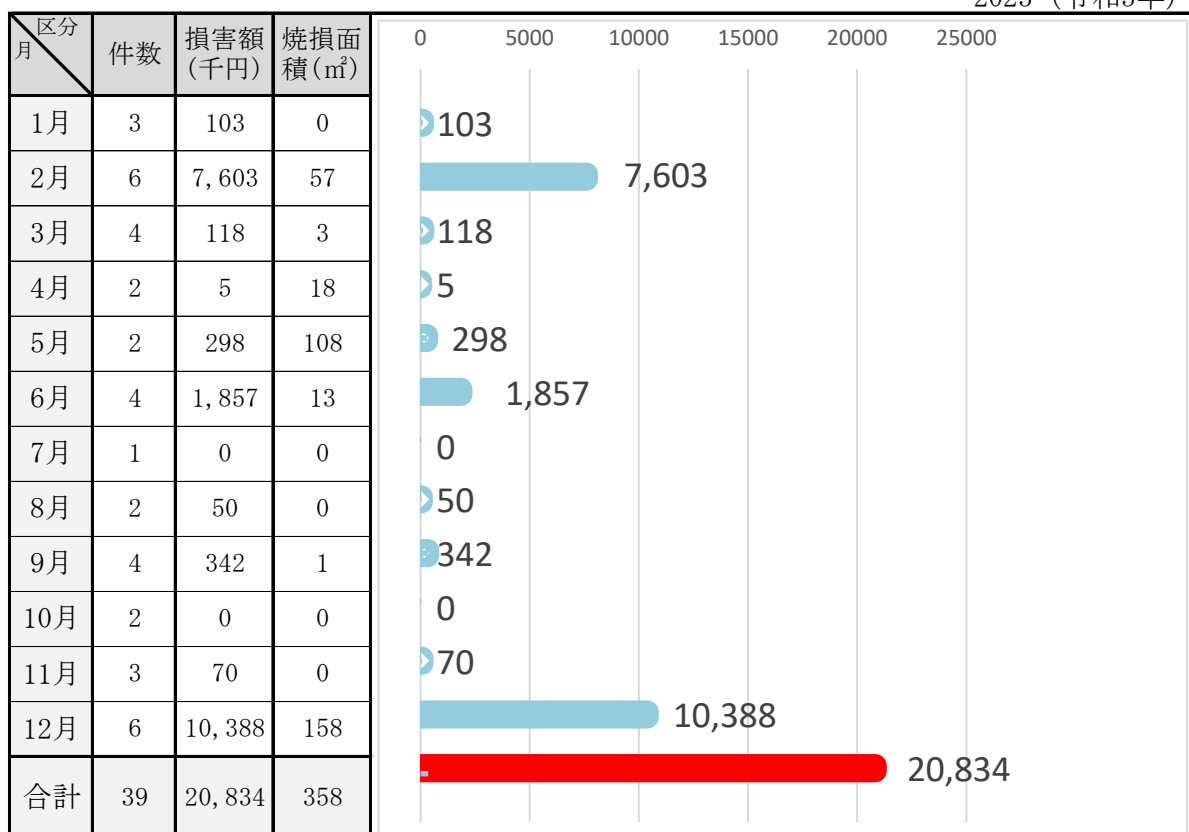
# 時間別火災発生状況

2023 (令和5年)



# 月別火災件数及び損害額

2023 (令和5年)



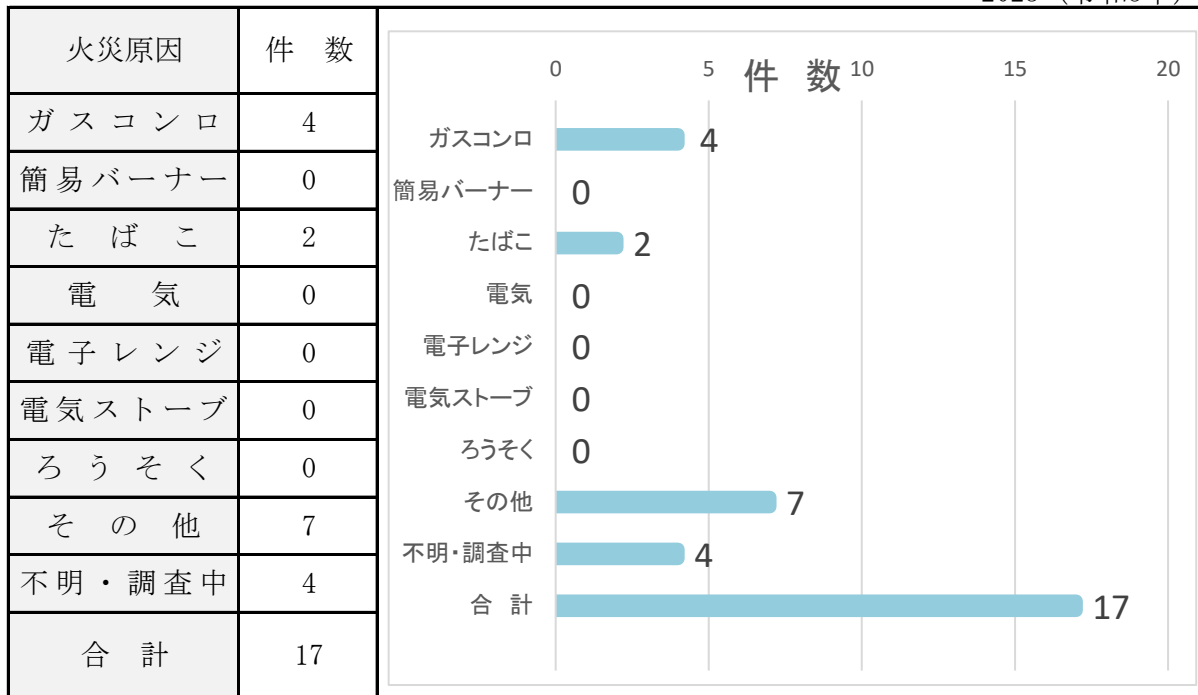
# 月・曜日別火災件数及び損害額

2023（令和5年）

月別 \ 曜日	曜日							火災件数 (計)	損害額 (千円)
	日	月	火	水	木	金	土		
1月			2		1			3	103
2月				3	1	1	1	6	7,603
3月	1	1	1				1	4	118
4月						1	1	2	5
5月				1			1	2	298
6月			1			2	1	4	1,857
7月	1							1	0
8月				1	1			2	50
9月	1		2		1			4	342
10月	1			1				2	0
11月				1		1	1	3	70
12月	2	1	1		1		1	6	10,388
火災件数 (計)	6	2	7	7	5	5	7	39	20,834

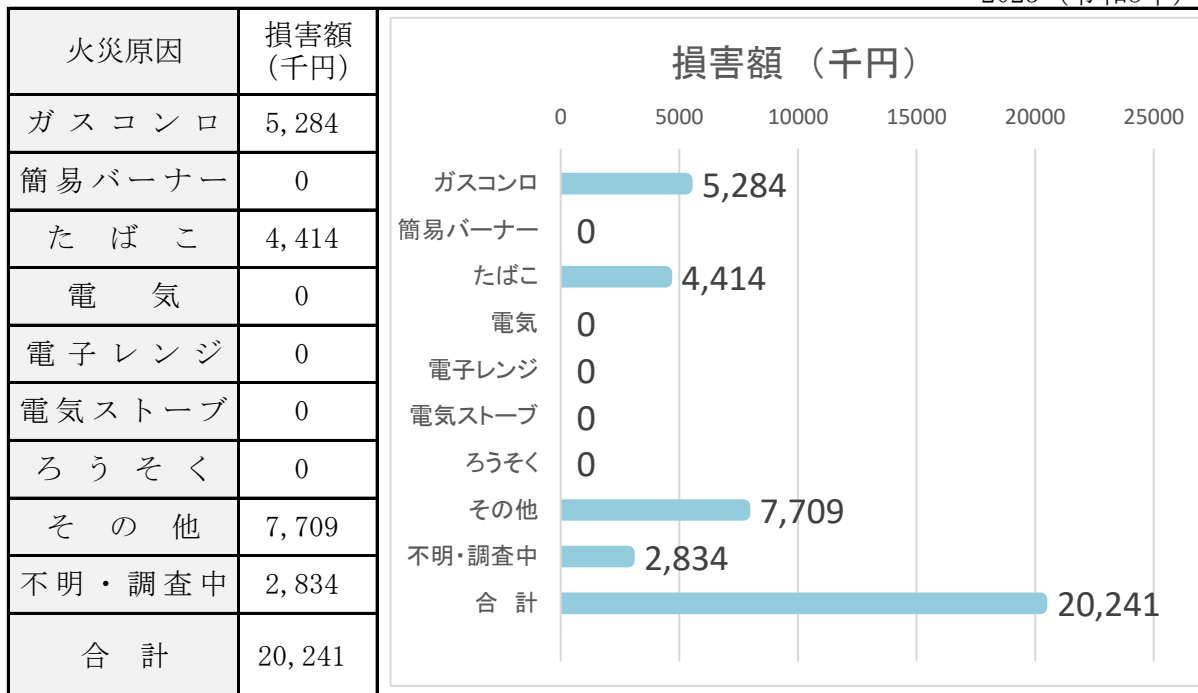
## 火災原因別・発生件数（建物火災）

2023（令和5年）



## 火災原因別・損害額（建物火災）

2023（令和5年）



# 自治会別火災発生件数及び損害額

2023（令和5年）

自治会別	件数	損害額（千円）	自治会別	件数	損害額（千円）
越来	1	1	宮里	3	5,359
城前	0	0	吉原	0	0
照屋	3	120	松本	0	0
安慶田	0	0	明道	2	0
室川	1	70	知花	3	10
住吉	0	0	登川	2	0
嘉間良	0	0	池原	0	0
八重島	1	267	古謝	1	0
センター	2	288	東桃原	0	0
胡屋	1	0	大里	1	0
中の町	0	0	高原	2	3
園田	2	10,121	比屋根	5	242
諸見里	0	0	与儀	1	4,011
山里	0	0	泡瀬	3	342
山内	0	0	泡瀬第一	0	0
久保田	0	0	泡瀬第二	0	0
南桃原	0	0	泡瀬第三	0	0
美里	3	0	海邦	1	0
東	0	0	その他	1	0
合 計				39	20,834

## 過去5年間の火災発生状況

区 分		年 別		2019	2020	2021	2022	2023
		平成31年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
火災件数		34	46	24	32	39		
火災種別	建 物	18	22	11	21	17		
	林 野	0	0	1	1	0		
	車 両	7	6	1	5	8		
	その他	9	18	11	5	14		
焼損程度	全 焼	6	2	1	7	2		
	半 焼	0	1	1	1	0		
	部分焼	3	1	1	3	6		
り 災 世 帯		17	12	9	19	13		
り 災 人 員		23	16	24	37	26		
死傷者	死 者	1	0	0	3	2		
	負傷者	5	1	2	3	5		
焼損面積	建 物	393	321	198	944	358		
	林 野	0	0	250	0	0		
損害見積（千円）	建物 内容物含む	33,989	16,484	16,590	29,023	19,838		
	林 野	0	0	0	0	0		
	車 両	171	1,116	300	48	654		
	その他	0	2137	5	12	342		
	合 計	34,160	19,737	16,895	29,083	20,834		

## 過去10年間の建物火災/用途別発生状況

年別 用途別	2014 平成 26年	2015 平成 27年	2016 平成 28年	2017 平成 29年	2018 平成 30年	2019 平成 31年 令和 元年	2020 令和 2年	2021 令和 3年	2022 令和 4年	2023 令和 5年	合 計
専用住宅	14	10	11	5	8	5	6	4	8	6	77
共同住宅	9	6	12	11	2	6	8	3	7	7	71
併用住宅		1		1	3			1			6
劇場											0
キャバレー等	3								1		4
遊技場											0
料理店										1	1
飲食店	4	4	2	2	3	5	3	1		1	25
店舗		1			1		1	1	2	2	8
旅館・宿泊所			1		1		1		1		4
病院											0
福祉施設			1								1
幼稚園											0
学校	1										1
公衆浴場											0
寺院・教会											0
工場・作業所				10	1	1	2				14
倉庫		2	1	1	1	1	1				7
事務所		1									1
その他	2	2	1	2				1	2		10
合計	33	27	29	32	20	18	22	11	21	17	230

# 防災センター利用者状況

月別・年齢層別・地域別

2023（令和5年）

区分 月別	市内				市外	基地内	県外	合計
	園児	小中学校	大高校	小計				
1月	30	266	24	320	103			423
2月	19	3	11	33	312		14	359
3月	126	20	47	193	251			444
4月	2	36	23	61	61			122
5月	12		35	47	133		14	194
6月		24	33	57	50			107
7月	2	162	27	191	474			665
8月	7	187	31	225	731		18	974
9月	104	397	92	593	172			765
10月	56	276	65	397	30		18	445
11月	92	203	38	333	33			366
12月	101	191	72	364	31			395
計	551	1,765	498	2,814	2,381	0	64	5,259

月別・年齢層別・地域別

2022（令和4年）

区分 月別	市内				市外	基地内	県外	合計
	園児	小中学校	大高校	小計				
1月								0
2月								0
3月		61	17	78	22			100
4月	7	42	40	89	35			124
5月	25		5	30	64			94
6月	7	65	45	117	118		7	242
7月	8	50	15	73	131			204
8月								0
9月	108	127	31	266	56			322
10月	89	199	116	404	166			570
11月	104	156	52	312	187			499
12月	38	86	40	164	129	3		296
計	386	786	361	1,533	908	3	7	2,451

※1月～2月、8月は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため閉館。

# 月別救急状況

2023（令和5年）

事故種別 月別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	合
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	院・その他	計
1月	出動件数	0	0	0	42	0	6	124	4	14	674	59	923
	搬送人員	0	0	0	33	0	5	89	2	7	529	55	720
2月	出動件数	4	0	0	34	3	7	123	2	7	463	51	694
	搬送人員	2	0	0	25	3	5	100	2	4	397	45	583
3月	出動件数	2	0	0	31	1	6	126	3	3	485	81	738
	搬送人員	0	0	0	26	1	5	94	1	2	424	67	620
4月	出動件数	1	0	0	33	1	3	101	5	7	471	61	683
	搬送人員	1	0	0	24	1	3	81	4	4	392	50	560
5月	出動件数	1	0	0	37	5	4	115	2	5	567	61	797
	搬送人員	0	0	0	24	5	4	99	0	2	474	51	659
6月	出動件数	2	1	0	28	2	2	94	3	11	641	65	849
	搬送人員	0	1	0	26	2	0	77	2	6	516	61	691
7月	出動件数	0	0	0	22	5	4	122	2	6	713	84	958
	搬送人員	0	0	0	18	4	4	83	1	4	517	72	703
8月	出動件数	1	8	0	49	1	7	118	4	7	682	62	939
	搬送人員	0	7	0	36	1	6	94	3	3	506	57	713
9月	出動件数	1	0	0	41	4	4	110	6	7	613	71	857
	搬送人員	0	0	0	24	6	2	79	5	3	476	63	658
10月	出動件数	0	0	0	33	1	2	121	3	6	557	75	798
	搬送人員	0	0	0	20	1	2	88	2	4	441	62	620
11月	出動件数	3	0	0	46	6	5	108	6	4	511	52	741
	搬送人員	1	0	0	32	6	5	84	3	2	406	45	584
12月	出動件数	2	0	0	36	5	3	149	2	11	516	64	788
	搬送人員	0	0	0	28	3	3	105	1	3	426	57	626
合計	出動件数	17	9	0	432	34	53	1,411	42	88	6,893	786	9,765
	搬送人員	4	8	0	316	31	44	1,073	26	44	5,504	685	7,735



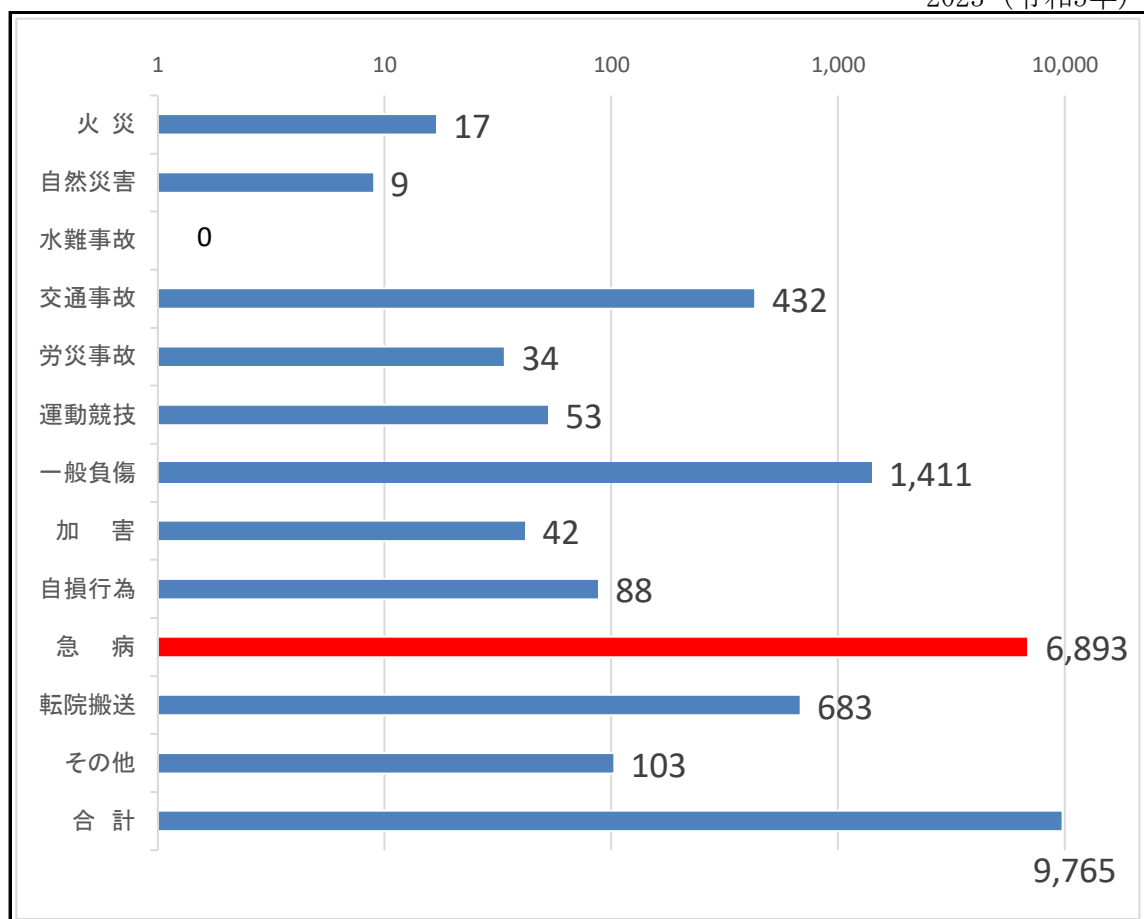
## 事故種別救急出動件数

2023 (令和5年)

事故種別 区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
出動件数	17	9	0	432	34	53	1,411	42	88	6,893	683	103	9,765
比率 (%)	0.2%	0.1%	0.0%	4.4%	0.3%	0.5%	14.4%	0.4%	0.9%	70.6%	7.0%	1.1%	

## 救急出動の状況

2023 (令和5年)



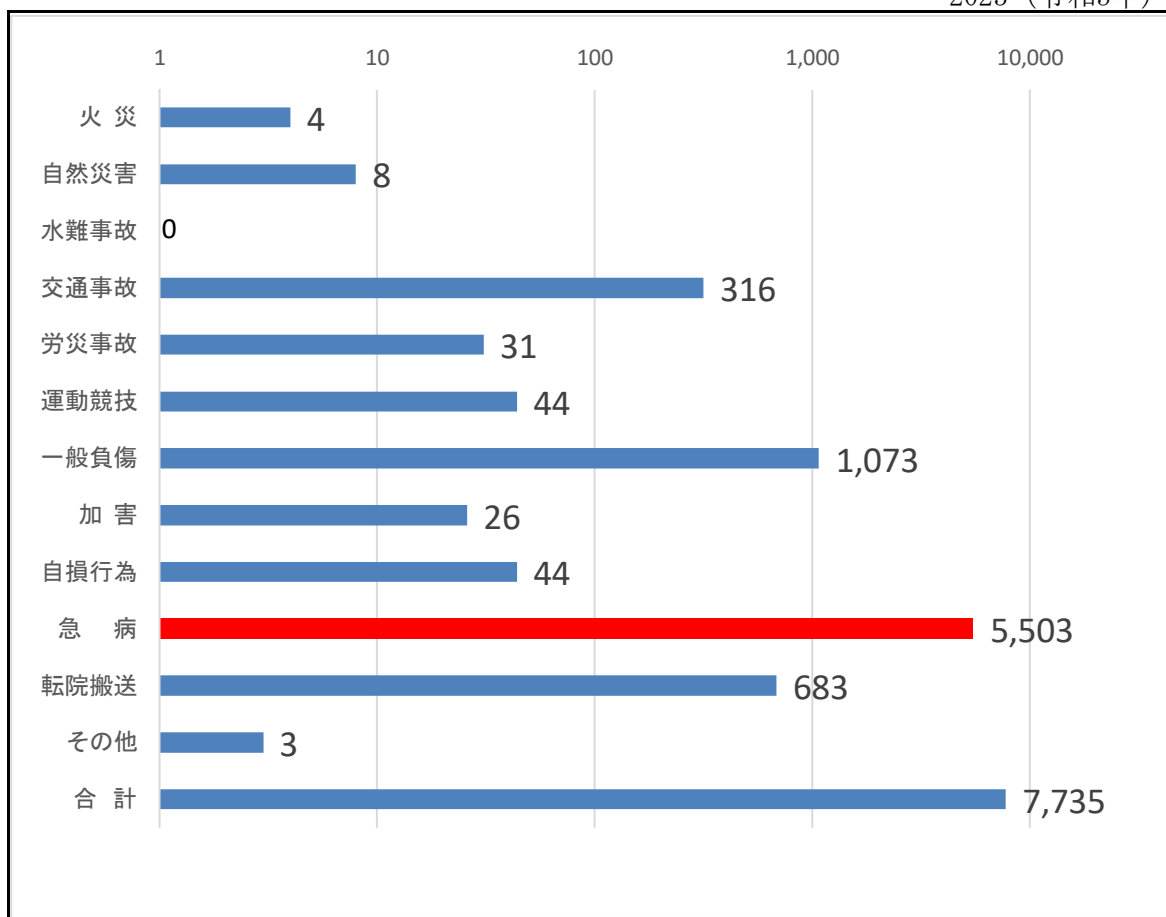
## 事故種別救急搬送人員

2023（令和5年）

事故種別 区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
搬送人員	4	8	0	316	31	44	1,073	26	44	5,503	683	3	7,735
比率（%）	0.1%	0.1%	0.0%	4.1%	0.4%	0.6%	13.9%	0.3%	0.6%	71.1%	8.8%	0.0%	

## 救急搬送人員の状況

2023（令和5年）



# 曜日別救急出動状況

2023（令和5年）

曜日別 事故種別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
火災	1	1	1	4	3	3	4	16
自然災害	1	0	4	0	2	1	1	8
水難事故	0	0	0	0	0	0	0	0
交通事故	50	65	56	64	66	64	67	382
労働災害	2	4	3	7	6	10	2	32
運動競技	13	2	4	6	8	5	15	40
一般負傷	241	198	188	184	190	186	224	1,170
加害	11	3	2	4	7	7	8	31
自損行為	11	13	17	12	12	11	12	77
急病	989	1062	994	933	976	934	1005	5,904
転院	45	132	114	106	93	108	85	638
その他	17	16	10	18	13	13	16	86
合計	1,381	1,496	1,393	1,338	1,376	1,342	1,439	9,765

# 時間別搬送人員

2023 (令和5年)

時間別 事故種別	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	合計	
	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24		
火 災	0	0	2	0	2	4	2	2	1	1	2	1	17	
自然災害	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	3	1	0	
水難事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
交通事故	20	18	17	38	47	33	45	39	58	63	32	22	432	
労働災害	0	1	0	0	8	4	6	8	3	2	1	1	34	
運動競技	0	0	0	0	3	11	14	13	7	5	0	0	53	
一般負傷	114	68	53	106	155	135	120	135	158	139	116	112	1,411	
加 害	9	6	6	5	2	1	0	0	1	1	5	6	42	
自損行為	5	5	5	5	9	12	11	6	8	7	9	6	88	
急 病	437	331	343	498	818	715	676	618	627	723	580	527	6,893	
そ の 他	転院搬送	12	11	8	19	57	132	163	96	94	44	21	26	683
	医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資器材 等搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	9	6	8	6	8	6	9	13	11	10	4	13	0
合 計	606	446	442	678	1,109	1,056	1,047	930	968	995	773	715	9,765	

# 時間別搬送人員

2023（令和5年）

時間別 事故種別	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	合 計
	5 2	5 4	5 6	5 8	5 10	5 12	5 14	5 16	5 18	5 20	5 22	5 24	
火 災	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	4
自然災害	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	3	1	8
水難事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通事故	14	10	14	26	38	23	26	30	42	50	28	15	316
労働災害	0	1	0	0	7	4	5	8	3	1	1	1	31
運動競技	0	0	0	0	3	8	12	10	6	5	0	0	44
一般負傷	74	49	41	81	132	118	98	105	114	102	80	79	1,073
加 害	5	3	4	4	1	1	0	0	1	0	4	3	26
自損行為	5	3	2	4	2	6	4	2	5	4	3	4	44
急 病	310	240	257	401	695	581	552	510	527	579	446	406	5,504
その他	12	11	10	20	57	131	163	95	93	45	21	27	685
合 計	420	317	329	537	935	875	861	761	791	786	587	536	7,735

## 事故種別/傷病程度別搬送人員

2023 (令和5年)

事故種別 \ 傷病程度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
火災	1	0	0	3	0	4
自然災害	0	1	0	7	0	8
水難事故	0	0	0	0	0	0
交通事故	3	22	41	250	0	316
労働災害	0	2	8	21	0	31
運動競技	0	0	5	39	0	44
一般負傷	4	129	262	677	1	1,073
加 害	0	1	1	24	0	26
自損行為	7	6	15	16	0	44
急病	69	571	1,860	3,002	2	5,504
その他	5	127	427	126	0	685
合 計	89	859	2,619	4,165	3	7,735

## 事故種別/年齢区分別搬送人員

2023 (令和5年)

事故種別 \ 区分	新生児	乳幼児	少 年	成 年	高齢者	合 計
火災	0	0	0	4	0	4
自然災害	0	0	1	3	4	8
水難事故	0	0	0	0	0	0
交通事故	0	6	50	191	69	316
労働災害	0	0	34	8	2	44
運動競技	0	0	0	28	3	31
一般負傷	1	44	42	231	755	1,073
加 害	0	0	1	23	2	26
自損行為	0	0	0	36	8	44
急病	5	311	163	1668	3357	5,504
その他	28	4	6	165	482	685
合 計	34	365	297	2,357	4,682	7,735

## 現場到着所要時間別出動件数

2023 (令和5年)

所要時間	事故種別				
	急病	交通事故	一般負傷	以外	合計
3分未満	26	4	1	6	37
3分以上 5分未満	520	34	118	112	784
5分以上 10分未満	5,132	299	1,052	747	7,230
10分以上 20分未満	1,199	90	237	160	1,686
20分以上	16	5	3	4	28
合計	6,893	432	1,411	1,029	9,765
現場到着 最短所要時間	0	0	1	0	
現場到着 最長所要時間	37	34	32	25	
現場到着 平均所要時間	8	8.4	8	7.6	

## 收容所要時間別搬送人員

2023 (令和5年)

所要時間	事故種別					
	急病	交通事故	一般負傷	以外	計	
10分未満	管内	0	0	0	0	0
	管外	0	0	0	0	0
10分以上 20分未満	管内	53	2	9	58	122
	管外	36	2	8	48	94
20分以上 30分未満	管内	2,289	82	349	495	3,215
	管外	1,874	60	274	364	2,572
30分以上 60分未満	管内	3,114	225	693	283	4,315
	管外	2,551	171	529	235	3,486
60分以上 120分未満	管内	48	7	22	6	83
	管外	40	3	20	6	69
120分以上	管内	0	0	0	0	0
	管外	0	0	0	0	0
合計	管内	5,504	316	1,073	842	7,735
	管外	4,501	236	831	653	6,221
收容最短 所要時間		15	18	15	14	
收容最長 所要時間		96	75	86	76	
收容平均 所要時間		31.8	35.4	34.1	28.4	

## 管内管外別搬送人員

2023（令和5年）

区分 事故種別	管内に住所を 有するもの	管外に住所を 有するもの	そ の 他	合 計
火 災	4	0	0	4
自然災害	8	0	0	8
水難事故	0	0	0	0
交通事故	242	72	2	316
労働災害	18	13	0	31
運動競技	19	25	0	44
一般負傷	987	85	1	1,073
加害事故	20	6	0	26
自損行為	36	6	2	44
急 病	5,105	387	12	5,504
そ の 他	420	263	2	685
合 計	6,859	857	19	7,735

## 発生場所別搬送人員

2023（令和5年）

区分 事故種別	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	そ の 他	合 計
急病	4,011	1,236	54	193	10	5,504
交通事故	3	15	1	296	1	316
一般負傷	665	213	11	176	8	1,073
その他	57	744	23	16	2	842
合 計	4,736	2,208	89	681	21	7,735



# 救急隊の行った応急処置件数

2023 (令和5年)

処置内容 \ 事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
止血	12	5	81	13	111
固定	38	182	167	42	429
人工呼吸	49	1	4	12	66
心臓マッサージ	47	0	3	8	58
内自動心マッサージ	28	0	1	6	35
心肺蘇生	125	6	12	20	163
内自動心マッサージ	73	4	7	15	99
酸素吸入	1,129	30	42	325	1,526
用手気道確保	185	6	15	28	234
*1	1	0	2	0	3
*2	2	0	0	0	2
*3	25	17	8	0	50
*4	7	0	2	2	11
保温	696	22	69	110	897
被覆	13	34	133	24	204
在宅療法継続	315	3	31	68	417
*A	2	0	0	4	6
*B	38		6	6	50
*C	275	3	25	58	361
ショックパンツによる血圧の保持	0	0	0	0	0
除細動	14	1	0	1	16
血糖測定	0	0	0	0	0
血圧測定	5,258	308	1,037	781	7,384
聴診器による心音等の聴取	1,184	117	83	781	2,165
血中酸素飽和度の測定	5,374	309	1,057	57	6,797
心電図	1,818	44	74	193	2,129
その他の応急処置	5,452	310	1,067	810	7,639

※下表は救急救命処置件数

器具を使った気道確保	32	17	10	2	61
静脈路確保	83	3	2	7	95
薬剤（アドレナリン）投与	40	0	6	0	46
ブドウ糖溶液の投与	5	0	0	0	5
エピペンの投与	1	0	0	0	1
合計	21,870	1,398	3,893	3,282	30,443

\*1は、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数

\*2は、喉頭鏡、鉗子等による異物除去を行った件数

\*3は、救急救命士がリングアルチューブ等を使用して気道確保を行った件数

\*4は、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数

\*Aは、在宅中心静脈栄養管理、在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対する応急処置件数

\*Bは、気管切開孔又は気管瘻が施された傷病者に対する応急処置件数

\*Cは、※A、※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対する応急処置件数

## 転院搬送の状況

2023（令和5年）

NO	医療機関名	転院搬送件数	比率（%）
1	ちゅうざん病院	149	21.8%
2	沖縄リハビリセンター病院	99	14.5%
3	沖縄中央病院	58	8.5%
4	中頭病院	45	6.6%
5	中部協同病院	45	6.6%
6	新垣病院	45	6.6%
7	翔南病院	38	5.6%
8	登川クリニック	17	2.5%
9	安立医院	17	2.5%
10	愛聖クリニック	17	2.5%
11	中部産婦人科医院	16	2.3%
12	ゆいクリニック	15	2.2%
13	うちま内科医院	15	2.2%
14	潮平病院	14	2.1%
15	プラザクリニック	11	1.6%
16	富名腰医院	11	1.6%
17	沖縄中部療育医療センター	9	1.3%
18	敬和医院	9	1.3%
19	ソフィアクリニック	6	0.9%
20	コザクリニック	5	0.7%
21	東部クリニック	5	0.7%
22	その他の医療機関	36	5.3%
合 計		682	

## 病院別搬送人員

2023（令和5年）

年 別 病院名	2019 (令和元年) (平成31年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)	2022 (令和4年)	2023 (令和5年)
県立中部病院	1,746	1,443	1,419	1,784	1,841
中部徳洲会病院	3,616	2,863	2,878	3,299	3,441
中頭病院	1,733	1,690	1,730	1,949	2,253
中部協同病院	71	73	52	39	42
そ の 他	132	98	174	226	158
合 計	7,298	6,167	6,253	7,297	7,735

## 救急出動件数（本署及び出張所）

2023（令和5年）

年 別 署所名	2019 (令和元年) (平成31年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)	2022 (令和4年)	2023 (令和5年)
本 署	4,024	3,675	3,723	4,653	4,838
山内出張所	2,163	1,853	1,829	2,211	2,441
泡瀬出張所	1,973	1,767	1,788	2,288	2,486
合 計	8,160	7,295	7,340	9,152	9,765

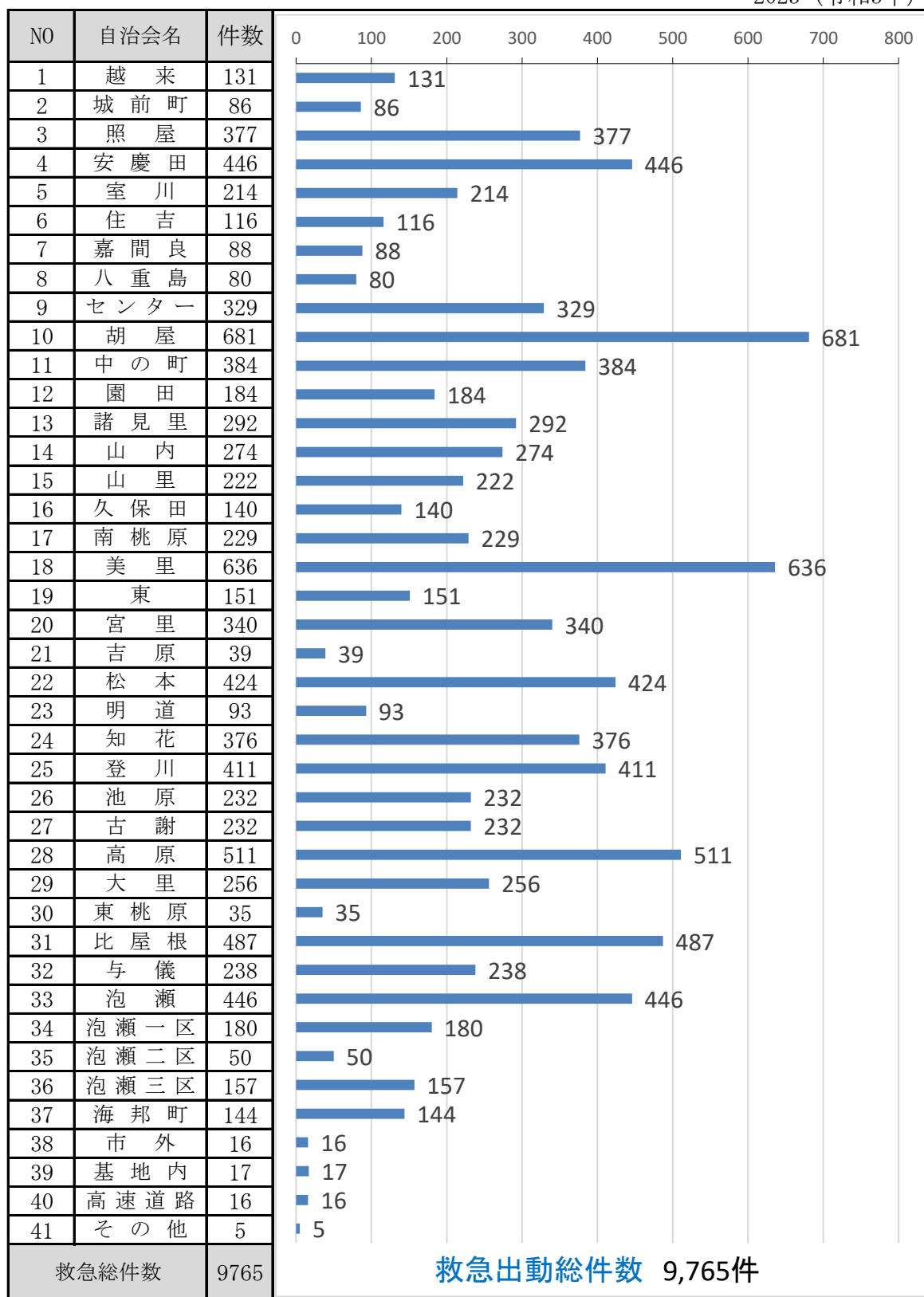
## 過去5年間の救急出動状況

2023 (令和5年)

年 別 事故種別	2019 (令和元年) (平成31年)	2020 (令和2年)	2021 (令和3年)	2022 (令和4年)	2023 (令和5年)
火 災	26	23	14	18	17
自然災害	2	1	4	0	9
水難事故	4	6	4	4	0
交通事故	412	298	356	386	432
労働災害	48	31	42	64	34
運動競技	46	32	28	37	53
一般負傷	1,035	1,075	1,004	1,268	1,411
加害事故	64	42	34	52	42
自損行為	90	74	91	75	88
急 病	5,805	5,120	5,147	6,551	6,893
転 院	461	529	570	582	683
そ の 他	167	64	46	115	103
合 計	8,160	7,295	7,340	9,152	9,765

# 発生地（自治会別）救急出動件数

2023（令和5年）



# 市民に対する救急法講習実施状況

2024（令和6年3月31日）現在

区分 月別	一般講習		救急入門 コース		普通 救命講習Ⅰ		普通 救命講習Ⅱ		普通 救命講習Ⅲ		上級 救命講習		普及員 講習		合 計	
	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数
1月	0	0	0	0	5	42	0	0	7	42	0	0	0	0	12	84
2月	0	0	1	28	4	18	1	5	4	22	0	0	0	0	10	73
3月	0	0	0	0	8	79	0	0	2	9	0	0	1	1	11	89
4月	0	0	1	57	2	9	0	0	3	12	0	0	0	0	6	78
5月	0	0	2	44	9	69	0	0	3	14	0	0	0	0	14	127
6月	0	0		0	8	58	2	28	4	23	0	0	0	0	14	109
7月	0	0	1	28	8	75	1	12	7	90	0	0	0	0	17	205
8月	0	0	0	0	10	91	1	9	5	43	0	0	0	0	16	143
9月	0	0	1	25	4	33	0	0	7	75	1	7	0	0	13	140
10月	0	0	1	5	7	45	0	0	5	33	0	0	0	0	13	83
11月	0	0	2	41	4	28	2	17	4	20	1	12	0	0	13	118
12月	0	0	2	22	8	71	0	0	6	53	0	0	0	0	16	146
合計	0	0	11	250	77	618	7	71	57	436	2	19	1	1	155	1395

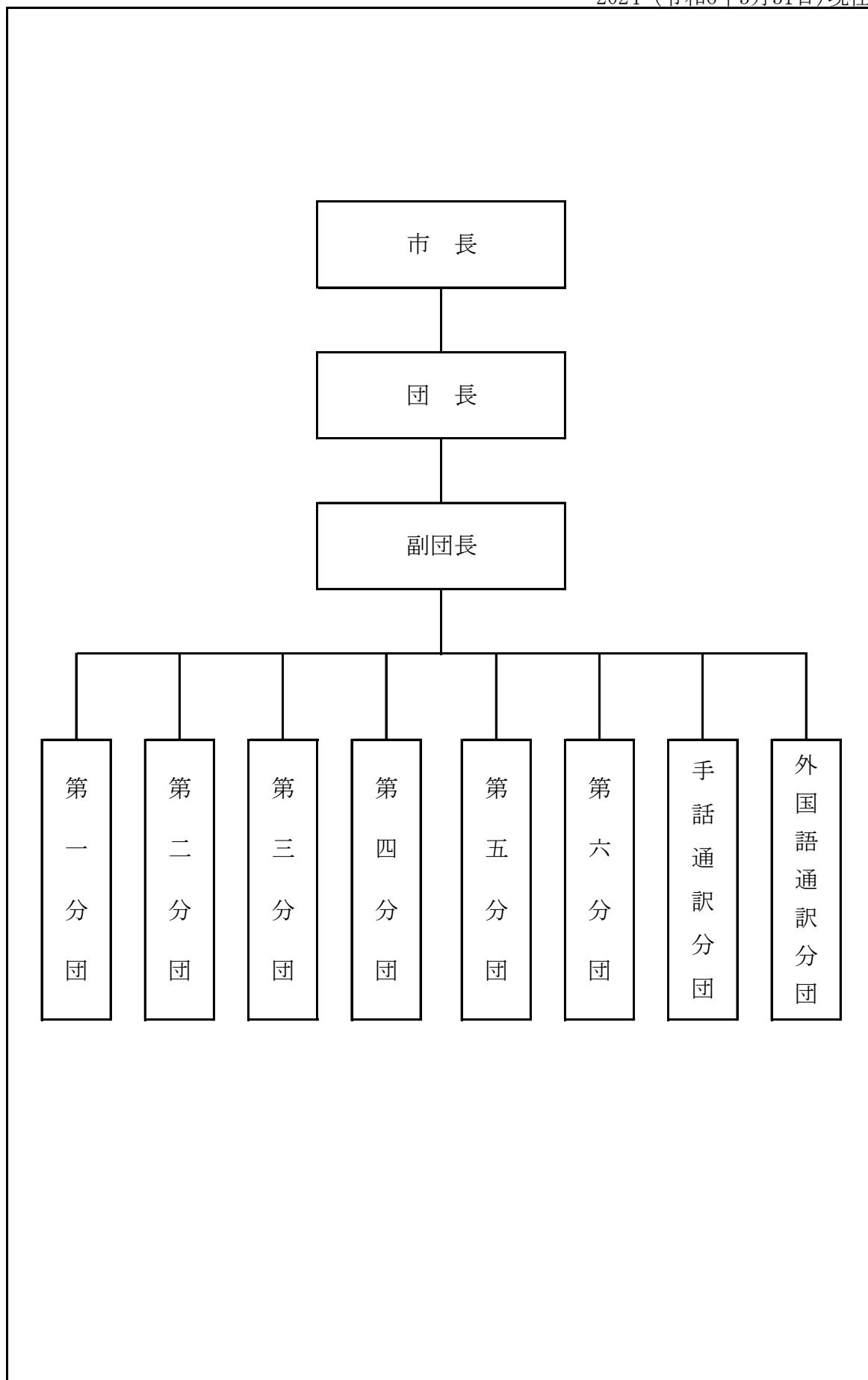
## 救急法講習の種類と内容

2024（令和6年3月31日）現在

講習の種類	時間	内 容
一般講習	2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>心肺蘇生法（一人法）</li> <li>大出血時の止血法</li> <li>AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> </ul>
救急入門コース	90分	<ul style="list-style-type: none"> <li>心肺蘇生法（主に成人対象）</li> <li>AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> <li>人工呼吸（紹介）</li> </ul>
普通救命講習Ⅰ	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>心肺蘇生法（主に成人）</li> <li>異物除去法</li> <li>大出血時の止血法</li> <li>AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> </ul>
普通救命講習Ⅱ	4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>心肺蘇生法（主に成人）</li> <li>異物除去法</li> <li>大出血時の止血法</li> <li>AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> <li>筆記試験、実技試験</li> </ul>
普通救命講習Ⅲ	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>心肺蘇生法（主に新生児・乳児・小児）</li> <li>異物除去法</li> <li>大出血時の止血法</li> <li>AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> </ul>
上級救命講習	8時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>心肺蘇生法（すべての年齢）</li> <li>異物除去法</li> <li>大出血時の止血法</li> <li>AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> <li>傷病者管理法、骨折時の固定法、熱傷の手当、搬送法</li> <li>筆記試験、実技試験</li> </ul>
普及員講習	24時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な知識技能</li> <li>指導要領</li> <li>効果測定・指導内容に関する質疑への対応</li> </ul>

# 沖縄市消防団の組織図

2024 (令和6年3月31日)現在



## 沖縄市消防団の沿革 1974（昭和49年）～2002（平成14年）

西暦 和暦	月 日	で き ご と
1974 昭和49年	4月1日	コザ市、美里村が合併して沖縄市が誕生し、沖縄市消防団発足 初代消防団長に金城棟撰（旧コザ市消防団長）が就任 消防団員の定数50人となる
1975 昭和50年	3月8日	金城棟撰消防団長退任、第2代目消防団長に吉本武市就任
1978 昭和53年	10月14日	第6回全国消防操法大会出場、優良賞受賞（自動車の部・東京）
1979 昭和54年	2月10日	日本消防協会より特別表彰で表彰旗を授与される
1980 昭和55年	10月12日	第7回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部・東京）
1982 昭和57年	10月11日	第8回全国消防操法大会出場（自動車の部・東京）
1983 昭和58年	1月5日	日本消防協会より特別表彰で表彰旗を授与される
1984 昭和59年	2月10日 10月14日	日本消防協会より特別表彰で最高栄誉賞まといを授与される 第9回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部・横浜市）
1986 昭和61年	10月15日	第10回全国消防操法大会出場（自動車の部・横浜市）
1987 昭和62年	10月25日	第42回国民体育大会（海邦国体）消防警備実施 （10月25日～10月30日） 第23回全国身体障害者スポーツ大会（かりゆし大会）消防警備実施 （11月14日～11月15日）
1988 昭和63年	10月11日	第11回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部・横浜市）
1990 平成2年	5月15日 8月10日 10月10日	吉本武市消防団長春の叙勲で藍綬褒賞受賞 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台寄贈（日産自動車） 第12回全国消防操法大会出場（自動車の部・横浜市）
1991 平成3年	3月9日 4月1日	吉本武市消防団長退任 第3代目消防団長に岩下武治就任
1992 平成4年	10月14日	第13回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部・横浜市）
1994 平成6年	10月11日	第14回全国消防操法大会出場（ポンプ車の部・横浜市）
1995 平成7年	3月31日 4月1日	岩下武治消防団長退任 第4代目消防団長に山入端治男就任
1996 平成8年	10月16日	第15回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部・横浜市）
1999 平成11年	3月31日 4月1日	山入端治男消防団長退任 第5代目消防団長に池宮城盛基就任
2000 平成12年	10月19日	第17回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部・横浜市）
2002 平成14年	10月24日	第18回全国消防操法大会出場（ポンプ車の部・横浜市）



## 沖縄市消防団の沿革 2004（平成16年）～2023（令和5年）

西暦 和暦	月 日	で き ご と
2004 平成16年	11月8日	第19回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（横浜市）
2005 平成17年	3月31日 4月1日	池宮城盛基消防団長退任 第6代目消防団長に仲里博市就任
2008 平成20年	10月12日 12月22日	第21回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部・東京都） 財団法人日本消防協会から多機能型車両1台寄贈
2010 平成22年	8月30日	平成22年度ふるさと消防団活性化助成事業（宝くじ助成金） 心肺蘇生訓練用人形3体、AEDトレーナー2台・プリンター2台 啓発ポスター作成用パソコン
2011 平成23年	3月31日 4月1日	仲里博市消防団長退任 第7代目消防団長に小濱守康就任
2014 平成26年	3月31日	消防団ポンプ自動車（CD- I 型）購入（日野自動車） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
2015 平成27年	3月6日	消防功労者消防庁長官表彰表彰旗（消防本部・消防団） 平成26年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成金）により救命胴衣 50着、特定小電力トランシーバー12機、液晶テレビ、BDレコーダー 購入（安全装備品、情報伝達機器）
2016 平成28年	3月31日 4月1日 9月30日 10月14日	小濱守康消防団長退任 第8代目消防団長に久高清美就任（全国初の女性消防団長） 沖縄市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正によ り、消防団員の定数72名となる 定年制の導入、報酬・費用弁償額の改正、女性分団創設 総務省消防庁「女性や若者をはじめとした消防団加入促進支援事業」 受託契約（リーフレット・うちわ・紙芝居作成、バルーン教室） 第25回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（長野市）
2018 平成30年	3月7日 11月9日	消防団等地域活動表彰（消防庁長官表彰）受賞 小型動力ポンプB-2級購入（トーハツ）（緊急防災・減災事業債）
2019 平成31年	2月28日	防火衣8式購入（石油貯蔵施設立地対策等補助金）
2020 令和2年	4月1日	沖縄市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正によ り、消防団員の定数92名となる 機能別分団創設（機能別20名）報酬額の改正
2023 令和5年	3月31日	総務省より令和4年度総務大臣感謝状（消防団関係）

## 沖縄市消防団の沿革 2023（令和5年）～2024（令和6年）

西暦 和暦	月 日	で き ご と
2023 令和5年	4月1日	沖縄市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正により、出動報酬の創設、費用弁償の見直し
2024 令和6年	3月27日	総務省から救助用資機材・防災学習用資機材搭載型小型ポンプ積載車を寄贈

## 消防団員の定数及び実員

2024（令和6年3月31日）現在

階級 数	団長	副団長	分団長	副分団長	団員	合 計
定 数	1	1	8	8	74	92
実 数	1	1	6	6	58	72

## 消防団員の年齢

2024（令和6年3月31日）現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	団員	合 計
18～25					4	4
26～30					1	2
31～35					4	3
36～40				1	7	8
41～45				1	7	10
46～50			1	1	11	13
51～55			2		7	10
56～60			1	2	6	7
61～65			1	1	5	10
66～70	1	1	1		6	8
合 計	1	1	6	6	58	72
平均年齢	66	66	56.1	51.5	47.9	49.4

## 消防団員の報酬及び費用弁償額

2024（令和6年3月31日）現在

区分	階級	団長	副団長	分団長	副分団長	団員	
年報酬		¥82,500	¥ 69,000	¥50,500	¥45,500	¥36,500	
				機能別団員			
出勤報酬				¥12,000	¥10,800	¥9,000	
				災 害		4時間未満	¥4,000
						4時間以上	¥8,000
				警戒、防災指導、訓練等		4時間未満	¥3,000
				4時間以上	¥5,000		
費用弁償		1日につき¥750					
旅 費		市職員の旅費規定に準じて支給する					

## 消防団員の勤続年数

2024（令和6年3月31日）現在

年 数	階 級					
	団長	副団長	分団長	副分団長	団員	合計
5年未満			1	1	41	43
6年～9年			4	4	13	21
10年～14年				1	1	2
15年～19年					2	2
20年～24年			1			1
25年～29年	1	1			1	3
30年以上						0
合 計	1	1	6	6	58	72

## 消防団員の実務研修状況

2024（令和6年3月31日）現在

年度	消防 団長科	沖縄県消防学校					
		消防 団長科	幹部科	指揮 幹部科	基礎教育	警防課	操法科
昭和49年度～ 平成31年度	1	6	2	34	14	15	13
2019 (令和元年度)				5	1		1
2020 (令和2年度)				2			
2021 (令和3年度)		1				1	
2022 (令和4年度)			1	3	1		
2023 (令和5年度)		1		4			2
合 計	1	8	3	48	16	16	16

## 消防団車両

2024（令和6年3月31日）現在

車両名	台数	車両メーカー
救助用資機材・防災学習用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車	1	日産自動車
消防団ポンプ車（CD-1型）	1	日野自動車

## 消防団員出動状況

2024（令和6年3月31日）現在

区分	災害		警戒		防災指導		訓練		教育訓練		行事		会議等		その他		合計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
4月					3	6	3	43					3	18	2	3	11	70
5月					3	11	3	47					1	1			7	59
6月					2	6	3	54							2	7	7	67
7月					8	26	16	133					5	19	2	3	31	181
8月	8	21	1	4	7	21	20	121					1	2	3	11	40	180
9月			2	30	3	8	39	225			2	34	1	11	3	14	50	322
10月					2	9	10	121			1	14	2	11	3	10	18	165
11月					7	22	2	38	6	15	2	19	1	13	8	27	26	134
12月					2	5	3	74					1	1	1	1	7	81
1月					1	3	1	32	2	4	1	33	1	11	6	18	10	97
2月	1	5			2	8	2	37					2	4	3	10	12	68
3月					3	14	1	23					1	7	2	17	7	61
合計	9	26	3	34	43	139	103	948	8	19	6	100	19	98	35	121	226	1,485

## 女性防火クラブの趣旨

沖縄市女性防火クラブは、「地域の防火防災は、婦人の手で」を合言葉に昭和59年6月16日（10支部・会員数216人・初代会長に内里栄子）に発足しました。家庭防火という観点から、常日頃家庭内で火気を取り扱う機会の多い女性が、家庭防火のための活動することを第一の目的としています。具体的には、火災予防の知識の習得、地域住民に対する防火啓発、初期消火の訓練というような家庭防火に役立つ活動が中心となっていますが、現在では必ずしも「家庭防火」だけにとどまらず、地域の実情や特性を生かした防火・防災活動を展開しています。

## 女性防火クラブ現況



2024（令和6年3月31日）現在

	役職	氏名	所属支部
1	会長	照屋 真弓	室川
2	副会長	島袋 美智子	安慶田
3	会計	島袋 純子	登川

	支部名	会員数	支部長名
1	諸見里	26	
2	胡屋	40	
3	センター	5	
4	住吉	3	桑江 千里
5	室川	10	金 未 順
6	安慶田	11	又吉 栄子
7	美里	40	
8	泡瀬 第三	10	崎山 シズ子
9	中の町	57	上間 恵子
10	山内	15	与那覇りょう子
11	照屋	27	仲宗根 恵美子
12	知花	16	仲程 朝子
13	泡瀬	14	渡嘉敷 祥子
14	登川	4	平田 美佐子
15	吉原	5	知花 みゆき
計	15支部	283	

## 女性防火クラブの沿革 1984（昭和59年）～2024（令和6年）

1984 昭和59年	6月16日	沖縄市婦人防火クラブ結成、10支部、会員数216人、初代会長に内里栄子就任し発足する。
1985 昭和60年	2月28日	(財) 日本消防協会より優良婦人防火クラブとして表彰を受ける。
1986 昭和61年	10月28日	第2回全国婦人操法大会に県代表出場（7人参加）（横浜市）
1987 昭和62年	2月5日	防火クラブ広報車（防火号）を（財）日本防火協会より寄贈を受ける。
1988 昭和63年	3月9日	自治体消防40周年に参加（東京都）
	5月20日	初代会長内里栄子退任、第2代目会長に仲本久子就任。
1989 平成元年	5月24日	第2代目会長仲本久子退任、第3代目会長に仲尾初子就任。
1990 平成2年	5月25日	第3代目会長仲尾初子退任、第4代目会長に荻堂吉子就任。
1993 平成5年	11月18日	自治体消防45周年に参加（東京都）
1994 平成6年	11月2日	母と子の防火全国大会にて優良婦人防火クラブ表彰を受ける。
1995 平成7年	2月14日	沖縄市婦人防火クラブ結成10周年記念式典開催。
1996 平成8年	2月9日	4代目会長 荻堂吉子 優良婦人消防隊員の表彰を受ける。
1997 平成9年	1月22日	沖縄県消防学校落成式参加。
1997 平成9年	6月17日	第4代目会長荻堂吉子退任、第5代目会長に屋宜スミ就任。
1999 平成11年	3月11日	5代目会長 屋宜スミ 優良婦人消防隊員の表彰を受ける。
2000 平成12年	5月31日	第5代目会長屋宜スミ退任、第6代目会長に川上のり子就任。
2001 平成13年	1月9日	心肺蘇生法訓練人形（財）日本消防協会より寄贈を受ける。
2001 平成13年	2月9日	6代目会長 川上のり子 優良婦人消防隊員の表彰を受ける。
2003 平成15年	11月20日	自治体消防55周年に参加（東京都）
2006 平成18年	5月25日	第6代目会長川上のり子退任、第7代目会長に比嘉さよ子就任。
2007 平成19年	10月25日	第18回全国女性操法大会に県代表出場（7人参加）（横浜市）
2008 平成20年	5月28日	女性防火クラブ会則の改正 会則第6条（4）書記会計を置く。
2011 平成23年	5月27日	第7代目会長比嘉さよ子退任、第8代目会長に上間恵子就任。
2014 平成26年	2月7日	沖縄市女性防火クラブ結成30周年記念式典開催。
2018 平成30年	4月25日	第8代目会長上間恵子退任、第9代目会長に町田キヨ子就任。
2020 令和2年	4月28日	第9代目会長町田キヨ子退任、第10代会長に与那覇りょう子就任。
2021 令和3年	4月28日	第10代目与那覇りょう子退任、第11代目会長に上間春子就任。
2022 令和4年	5月11日	第11代目上間春子退任、第12代目会長に桑江千里就任。
2023 令和5年	5月10日	第12代目桑江千里退任、第13代目会長に照屋真弓就任。
2024 令和6年	5月15日	第13代目照屋真弓退任、第14代目会長に島袋美智子就任。

## 令和5年度 女性防火クラブ事業経過(概要)

2023 (令和5年度)

事業日	場 所	内 容	参加者	人数
4 月 5 日	本部会議室	会計監査 (令和4年度)	桑江千里 他	2
4 月 18 日	本部会議室	第1回 三役会議	桑江千里 他	2
4 月 24 日	本部会議室	第1回 支部長会	桑江千里 他	8
5 月 10 日	本部会議室	定期総会	桑江千里 他	29
8 月 9 日	本部会議室	第2回 三役会議	照屋真弓 他	2
8 月 9 日	本部会議室	第2回 支部長会	照屋真弓 他	7
9 月 5 日	本部会議室	第3回 三役会議	照屋真弓 他	1
9 月 13 日	本部会議室	第3回 支部長会	照屋真弓 他	9
10 月 18 日	沖縄气象台	視察研修	照屋真弓 他	34
11 月 9 日	沖縄市役所 ちゃんぷるー市場	秋季全国火災予防運動	照屋真弓 他	4
11 月 29 日	本部会議室	第4回 三役会議	照屋真弓 他	1
12 月 6 日	本部会議室	第4回 支部長会	照屋真弓 他	10
1 月 6 日	沖縄市民会館	消防出初式	照屋真弓 他	28
2 月 6 日	本部会議室	第5回 三役会議	照屋真弓 他	2
2 月 14 日	本部会議室	第5回 支部長会	照屋真弓 他	8
3 月 5 日	沖縄市役所 ちゃんぷるー市場	春季全国火災予防運動	照屋真弓 他	4



# 防 火 宣 言

私たち女性防火クラブは、火災予防の原点にたち、家庭における防火防災に努めます。

私たち女性防火クラブは、地域における防火思想の普及高揚を図り、火災のない明るい地域づくりに励みます。

私たち女性防火クラブは、全世帯の女性がクラブに加入することを目標に、組織の充実拡大を図っていきます。

私たち女性防火クラブは、積極的に自主防災活動を行い火災のない明るい沖縄市づくりに努力します。

以上のとおり宣言します。

令和6年3月31日

沖縄市女性防火クラブ

『火を消して

不安を消して

つなぐ未来』

二〇二三年度 全国統一防火



**市章**

沖縄市の頭文字「お」を三つの円を主体として図案化したもので、三つの円をガッチリと組み合わせ、市民の「調和・希望・平和」を表象したものです。